I·O DATA

ADSL/CATV対応ブロードバンドルータ

NP-BBRxp

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

101363-01

【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me, Windows 98, Windows 95の総称
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 Workstation
Windows 2000/NT 4.0	Windows 2000, Windows NT 4.0の総称
Windows	Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0の総称
Mac OS	Mac OS 8.0/8.1/8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.0.4/9.1/9.2

【ご注意】

1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac,iBookは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· i
本製品を導入すれば ····· iii
本製品を導入するまでの流れ ····· iv
本製品の特長 ····· v
安全にお使いいただくために ····· vi

第1章 導入する前に ····· 1

箱の中の確認 ····· 2
本製品を導入する上で必要なもの ····· 3
注意していただきたいこと ····· 7

第2章 設定する ····· 9
～ 設定用パソコンによる本製品の設定 ～

設定手順の流れ ····· 10
ステップ1 接続前の確認①
インターネットに接続できることを確認する ····· 12
ステップ2 接続前の確認②
本製品の各部の名称・機能を確認する ····· 13
ステップ3 接続
本製品や設定用パソコンを接続する ····· 15
ステップ4 設定用パソコンの準備①
設定用パソコンのIPアドレスを設定する ····· 21
ステップ5 設定用パソコンの準備②
設定したIPアドレスを確認する ····· 35
ステップ6 設定用パソコンの準備③
Webブラウザを設定する ····· 40
ステップ7 本製品の設定①
Webブラウザから設定画面を起動する ····· 51
ステップ8 本製品の設定②
ADSLやCATV接続を設定する ····· 54

本製品を出荷時状態に戻す場合(リセット) ……71
高度な設定について(インターネット接続後の設定) ……72

付録1 困ったときには ……73

付録2 設定画面体系図 ……86

付録3 TCP/IPの基礎知識 ……93
IPアドレス……94
同じネットワーク上では別々のIPアドレスが必要……94
インターネットのIPアドレスとLANのIPアドレス ……95
LAN内で使用するIPアドレスのクラス ……96
DHCP ……97
具体的なIPアドレスの設定例……98
本製品をDHCPサーバーとして使用する場合の例 ……98
IPアドレスをすべて手動で設定する場合の例 ……99

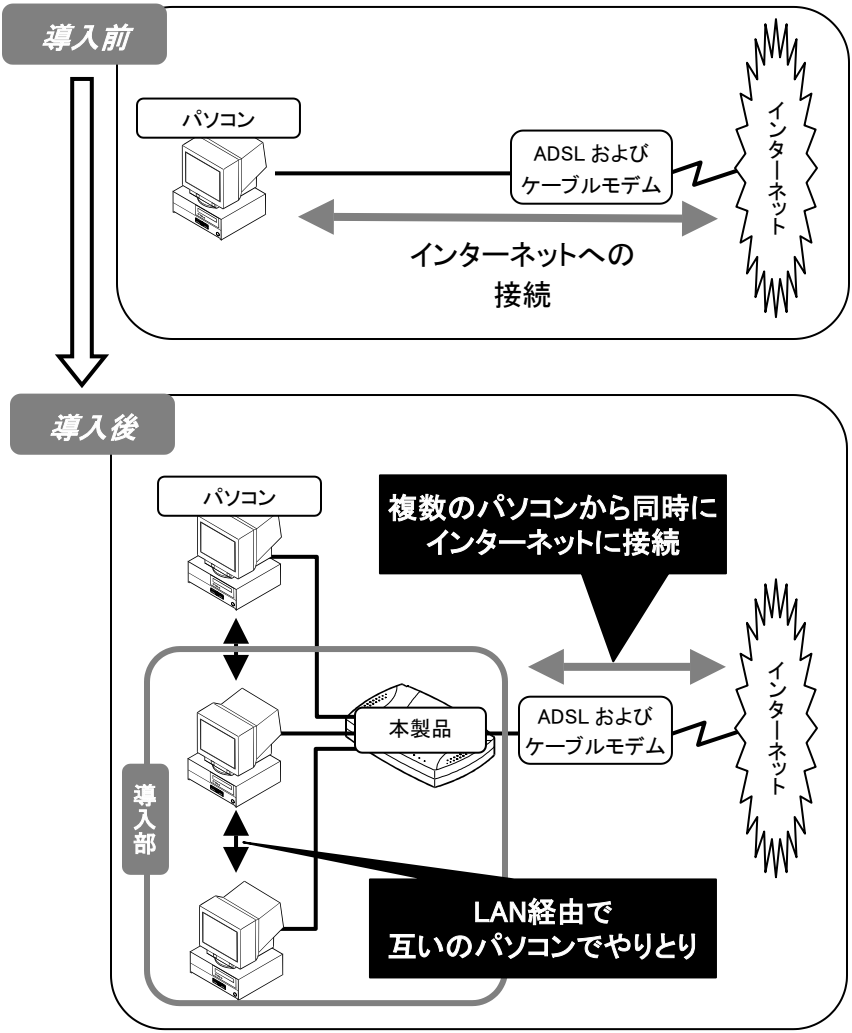
付録4 用語解説 …… 100

付録5 仕様 …… 107
PLANTコールセンターへのお問い合わせ ……109
ソフトウェアのバージョンアップ……110
保証について ……111
修理について ……112

本製品を導入すれば

本製品を導入すれば、複数台のパソコンから同時に ADSL および CATV 経由でインターネットに接続できるようになります。
また、本製品に接続したパソコン同士で LAN を形成することになりますので、パソコン同士のデータのやりとりなどを LAN 経由でできるようにもなります。

導入例



本製品を導入するまでの流れ

本製品を使用するには、まず、本製品を設定する必要があります。
設定後、ADSL および CATV 経由でインターネットに接続できるようになります。以下のフローに沿って、お進みください。

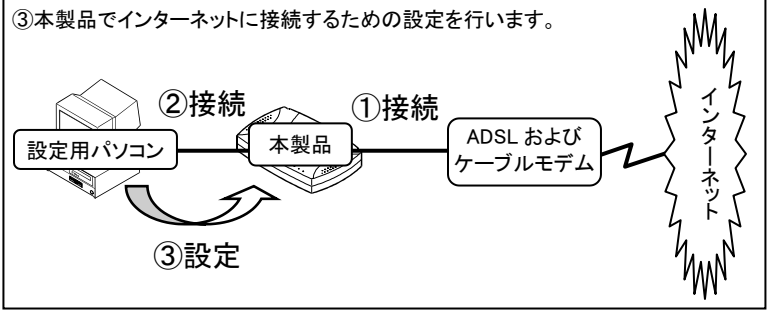
導入する前に ·····【第1章 導入する前に】(1ページ)

本製品を導入する前に、必要な確認事項を説明します。
必ずお読みください。

本製品の設定 ·····【第2章 設定する】(9ページ)

本製品の設定です。

①本製品をモデムに接続します。
②本製品を設定するためのパソコン(設定用パソコン)を、本製品に接続します。
③本製品でインターネットに接続するための設定を行います。



本製品をご活用ください。

本製品の特長

■超カンタン導入・ラクラク設定

・ブラウザ設定対応 （※InternetExplorer 4.0, Netscape Communicator 4.7 以降）
・PPPoE（PPP over Ethernet）自動再接続機能に対応しているので、PPPoE 接続サービス(ADSL 等)で安心して利用できます。
・DHCP サーバ/クライアント機能を搭載しているため、パソコンなどの IP アドレスを自動で設定できます。
・ポップアップヘルプ機能付き！設定項目でわからないことがあってもマニュアルレスでスピーディに調べることが出来ます。

■対戦ネットワークゲームにも対応！

・対戦ネットワークゲームはもちろん、NetMeeting をはじめとしたネットワークアプリケーションを利用できます。
・DMZ ホスト登録機能やバーチャルサーバ機能を搭載しており、あらゆる用途に対応でき、インターネットの楽しみ方が広がります。

■メール着信お知らせ機能搭載

・パソコンの電源が入っていなくても、ルータの LED 表示によりパソコンの変わりにメールの着信をお知らせします。

■常時接続で安心なセキュリティ機能搭載

・パケットフィルタリング機能や NAT による簡易ファイヤウォール機能により、常時接続された PC の安全性を向上させます。

■コンパクト・軽量なこだわりの筐体設計

・置き場所に困らないコンパクト設計、壁面への設置にも対応。
・抜けにくく断線に強い L 型コネクタケーブルのコンパクトな AC アダプタ採用

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。
- ●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、取扱説明書をご確認になり、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品※の電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

※Plag & Play製品（USB, IEEE 1394, PCカードなど）は除く。
電源コードをACコンセントに差したまま行うと、感電および故障の原因となります。

水濡れ
禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

ACアダプタについて

厳守

発火注意

AC アダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください。

- ●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。
- ●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります
- ●ACアダプタを保温・保湿性の高いもの（ジュータン・カーペット・スポンンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。
- ●ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。
  本機に添付のACアダプタは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用（保管は通風孔をふさぐようにしてください。）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（ジュータン・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

厳守

アクセスランプがある製品では、アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

第1章

導入する前に

この章では、本製品を導入する前の準備について、順を追って説明しています。

箱の中の確認　2ﾍﾟｰｼﾞ

箱の中身を確認します。

本製品を導入する上で必要なもの　3ﾍﾟｰｼﾞ

本製品を導入する上で必要な機器やソフトウェアについて説明します。

注意していただきたいこと　7ﾍﾟｰｼﾞ

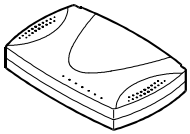
接続時や使用時に、してはいけないことなどを説明しています。
必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

箱の中の確認

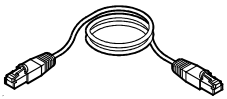
ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

☐ 本製品(NP-BBRxp)

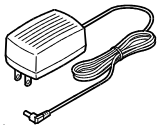


☐ LANケーブル(約1m)



ストレートケーブル
（カテゴリ5）

☐ ACアダプタ(1個)



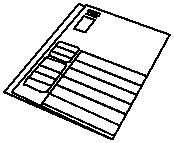
☑ 取扱説明書(1冊)

☐ ハードウェアシリアルNo.シール
（1枚）

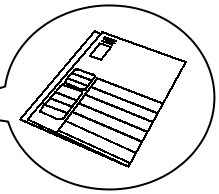
※ハードウェアシリアルNo.シールを
ハードウェア保証書とユーザー
登録カードに貼ってください。

☐ ハードウェア保証書(1枚)

☐ ユーザー登録カード(1枚)



ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。



本製品を導入する上で必要なもの

本製品を導入して使用するには、以下のADSLあるいはCATV環境、および次ページ以降のパソコン・LAN環境が必要です。

ADSLおよびCATV環境

契約

インターネット・サービスを受けるには、ADSL あるいは CATV プロバイダとの契約が必要です。
本製品を導入する前に契約しておいてください。

参考

契約後に取得した IP アドレス(ユーザ ID)について

契約後に、プロバイダからインターネットに接続するための[IP アドレス](あるいは[ユーザ ID])を取得します。
取得する IP アドレスは、「固定の IP アドレス」、「サーバーからの自動割り当て」などプロバイダによって異なります。
取得した[IP アドレス](あるいは[ユーザ ID])が1つでも、本製品の[NAT/IP マスカレード(NAPT)機能]を利用して複数台のパソコンでインターネットを利用することができます。

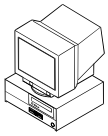
インターネットへの接続確認

本製品を使用する前に、パソコンを ADSL およびケーブルモデム（CATV モデム）に接続して、インターネットに正常に接続できることを確認しておいてください。

資料の準備

本製品を設定する際（詳細は【第２章】参照）にも、ADSL および CATV プロバイダから入手した設定用の資料が必要ですので、準備しておいてください。

パソコン本体



※本製品は、基本的に“LANインターフェイスを搭載し、TCP/IPが正常に動作する機器”であれば対応しています。（OSには特に依存しません。）

■Windowsでお使いになる場合■

パソコン本体	・NEC PC98-NX シリーズ ・DOS/V マシン※1 ・NEC PC-9800 シリーズ

※1　弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。

■Mac OSでお使いになる場合■

パソコン本体	Apple Macintosh, Power Macintosh, iMac, iBook, PowerBook

※弊社では、以下のOSでご利用いただく場合のみをサポート範囲とさせていただいており、UNIX系OSやLinuxなどでご利用いただく場合のサポートは行っておりませんので、ご了承ください。

サポート対象OS一覧	・日本語 Windows XP ・日本語 Windows 2000 ・日本語 Windows Me ・日本語 Windows 98(Second Edition 含む) ・日本語 Windows 95 ・日本語 Windows NT 4.0 ・Mac OS 8.0/8.1/8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.0.4/9.1/9.2

必要なソフトウェア（本製品を設定するパソコンのみ）

本製品を使用するには、最初に本製品の設定が必要です。
設定は、本製品を設定する１台のパソコン（**設定用パソコン**）でのみ行いますが、設定用パソコンには、以下のバージョンのいずれかのWebブラウザが必要です。
お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。

設定用 Webブラウザ	・Internet Explorer を使用する場合→バージョン 4.0 以上 ・Netscape Communicator を使用する場合→バージョン 4.7 以上

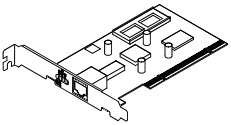
※　設定に使用されるWebブラウザは、Javaスクリプトの設定を、有効にしてください。

LAN環境

本製品とADSLおよびケーブルモデム（CATVモデム）との接続、また、本製品とパソコンとの接続は、LANケーブルで行います。
パソコン本体にLANコネクタを搭載していない場合は、別途、LANボードやUSB LANアダプタあるいはLAN PCカードなどLANに接続できる機器が必要です。
また、本製品に接続するパソコンの台数分のLANケーブルも必要です。

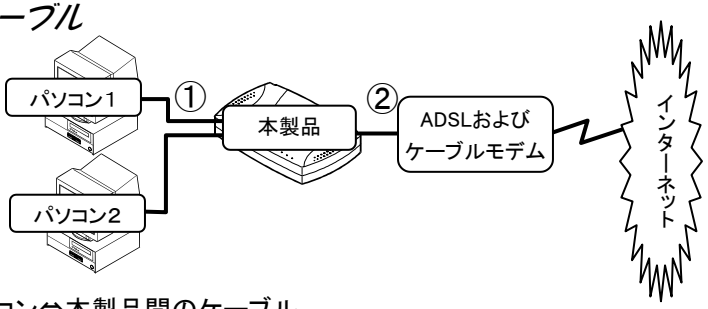
LANボードやUSB LANアダプタあるいはLAN PCカード

本製品に接続するすべてのパソコンで、取り付けているLANボードやUSB LANアダプタあるいはLAN PCカードの設定をご確認ください。



※LANボードやUSB LANアダプタおよびLAN PCカードなどをご利用時には、パソコンに取り付け、必要なソフトウェアをインストールしておく必要があります。
（詳細は、LANボードなどの取扱説明書を参照してください。）

LANケーブル



①パソコン⇔本製品間のケーブル

LANケーブル
（ストレート）

添付の LAN ケーブルをご使用ください。
なお、２台目以降のパソコンと本製品を接続するケーブルは、パソコンの台数分の LAN ケーブル（ストレート）が必要です。
別途、ご用意ください。

②本製品⇔ADSL モデム（またはケーブルモデム）間のケーブル

ADSLおよびケーブルモデムに付属のLANケーブル

本製品とモデムを接続するケーブルは、
モデムに付属のケーブル（パソコンと ADSL およびケーブルモデムを接続していたケーブル）をご使用ください。

注意！

LAN ケーブルには、ストレート用とクロス用があります。
NP-BBRxpは、Internet ポートにストレート・クロス切り替えスイッチがついていますので、どちらのタイプのケーブルもご使用になれます。

ハブ（本製品に５台以上パソコンを接続したい場合）

本製品には、パソコン側の接続用として４つの LAN コネクタ（1～4）を搭載しています。
※Internet コネクタは、ADSL およびケーブルモデムとの接続用コネクタです。
５台以上のパソコンを接続したい場合は、別途ハブをご用意ください。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本書の「安全で快適にお使いいただくために」の項を必ずお読みください。

1）本製品は、以下の注意事項を守ってお使いください。

・本製品は次のような場所で使用しないでください。
「安全で快適にお使いいただくために」に記載されている使用禁止場所

・本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

・本製品やケーブルの上に重いものを載せたり、ケーブルを引っ張ったりしないでください。漏電や故障の原因になります。

・本装置の汚れは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いてふいたりしますと、変形や変色の原因になることがあります。

・本製品を開けて内部の部品に触れないでください。電圧の高い部分があって危険です。また故障の原因になります。この場合は保証期間内であっても保証できなくなりますので、ご注意ください。

2）使用時は以下の注意事項をご確認ください。

・落雷の恐れがある場合は、本製品のご使用を中止し、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。

3）本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。（【修理について】(112ページ)参照）

改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

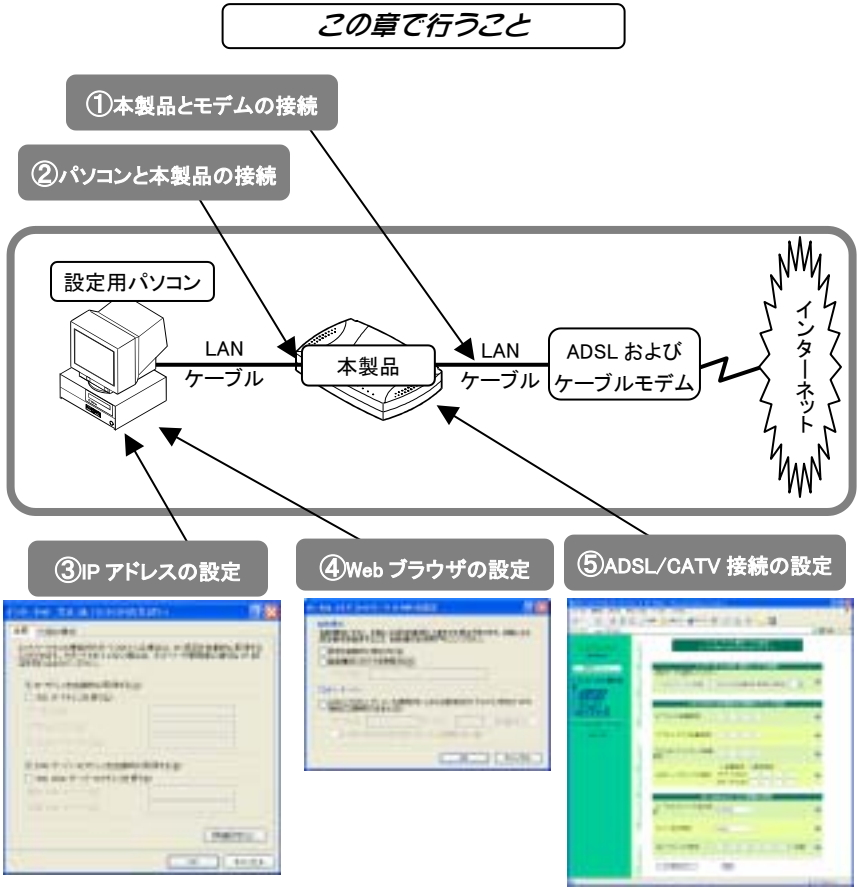
MEMO

第2章

設定する

～ 設定用パソコンによる本製品の設定 ～

この章では、本製品を導入するための設定方法を説明します。
設定は、モデムに本製品とパソコン１台**（設定用パソコン）**を接続し、設定用パソコンのIPアドレスの設定を行った後で、本製品の設定を行います。



設定手順の流れ

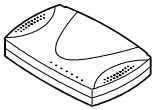
以下のステップに従って、本製品を設定してください。

ステップ1 ……【インターネットに接続できることを確認する】(12 ページ)

本製品を接続する前に、ADSL/CATV 経由でインターネットに接続できることを確認しておきます。

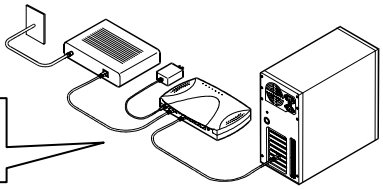
ステップ2 ……【本製品の各部の名称・機能を確認する】(13 ページ)

本製品の各部の名称・機能を確認します。



ステップ3 ……【本製品や設定用パソコンを接続する】(15 ページ)

本製品を ADSL およびケーブルモデムに接続し、設定用パソコンを本製品に接続します。

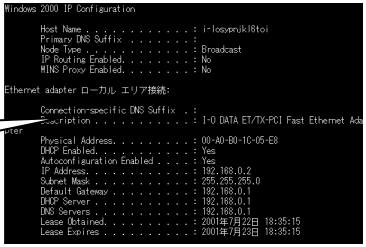


ステップ4 ……【設定用パソコンの IP アドレスを設定する】(21 ページ)

本製品を設定する設定用パソコンの IP アドレスを設定します。

ステップ5 ……【設定した IP アドレスを確認する】(35 ページ)

【ステップ4】で設定した設定用パソコンの IP アドレスを確認します。



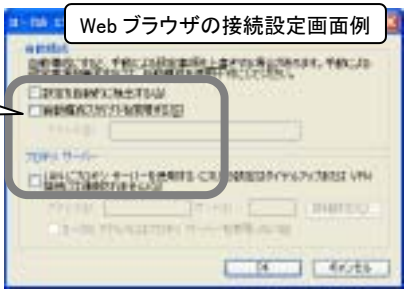
次ページへ

ステップ6 ……【Web ブラウザを設定する】(40 ページ)

設定は Web ブラウザを使用して行いますが、Web ブラウザの接続設定をしておく必要があります。

Web ブラウザの接続設定画面例

接続設定



ステップ7 ……【Web ブラウザから設定画面を起動する】(51 ページ)

Web ブラウザから設定画面を起動します。

本製品の設定画面

設定画面の起動

ステップ8 ……【ADSL や CATV 接続を設定する】(54 ページ)

設定画面で必要な設定を行います。

ADSL の設定画面例

設定

ステップ 1

接続前の確認①

インターネットに接続できることを確認する

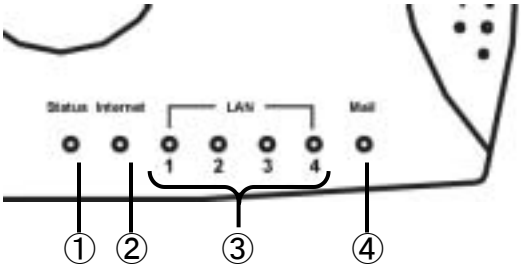
まず、本製品を接続する前に、パソコンをADSLおよびケーブルモデムに接続してインターネットに接続してください。なお、パソコンの設定は、ADSLおよびCATVプロバイダから入手した資料に従って設定してください。

ステップ 2

接続前の確認②

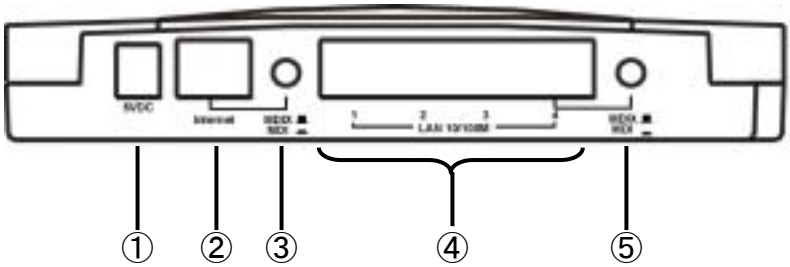
本製品の各部の名称・機能を確認する

■前面パネル■



No	ランプ	色	意味
①	Status	緑／赤	点灯： 電源が入っている場合。 緑：通常動作時。 赤：異常(エラー)動作時。 消灯： 電源が入っていない場合。
②	Internet	橙	点灯： Internetポートがリンクされている(ネットワークに接続されている)場合。 点滅： データを送受信したとき。 消灯： リンクされていないとき。
③	LAN	緑／橙	点灯： LAN1～4ポートにEthernetのインターフェイスを接続した場合。 点滅： データを送受信したとき。 緑：100BASE-TX 動作時。 橙：10BASE-T 動作時。 消灯： リンクされていないとき。
④	Mail	赤	点滅： POP3サーバにメールがあるとき。 2秒に1回点滅：メールが1～4通の場合。 2秒に2回点滅：メールが5～9通の場合。 2秒に3回点滅：メールが10～19通の場合。 2秒に5回点滅：メールが20通以上の場合。 消灯： POP3サーバにメールがないとき。 ※Mail LEDは電源投入時・再起動時にも点滅します。

■背面■



No	名称	用途
①	DC IN	添付のACアダプタを接続します。 DC 5Vを使用します。
②	10BASE-T コネクタ [Internet側]	ADSLおよびケーブルモデムとLANケーブルで接続するためのコネクタです。
③	ストレート クロス 切替スイッチ [Internet側]	Internetポートで、ストレート・クロス接続の切り替えを行います。 ご使用のADSLおよびケーブルモデムにあわせて設定してください。
④	10BAST-T/ 100BASE-TX コネクタ [LAN側1～4]	パソコンやハブ(ローカルネットワーク側)を接続するためのコネクタです。 10Mbpsと100Mbpsを自動認識します。 LANケーブルは、パソコンと接続する場合は、[ストレートケーブル]をご使用ください。 ハブと接続する場合は、LAN側4番ポートを使用し、クロス設定にて接続します。 (ストレートケーブル使用時) ※本書では、特に指定の無い限り、LAN側ポートとは、LAN側1～4の各ポートを表します。
⑤	ストレート クロス 切替スイッチ [LAN側4]	LAN側4番ポートのストレート・クロス接続の切り替えを行います。 ハブと接続する場合に、設定してください。

ステップ 3

接続

本製品や設定用パソコンを接続する

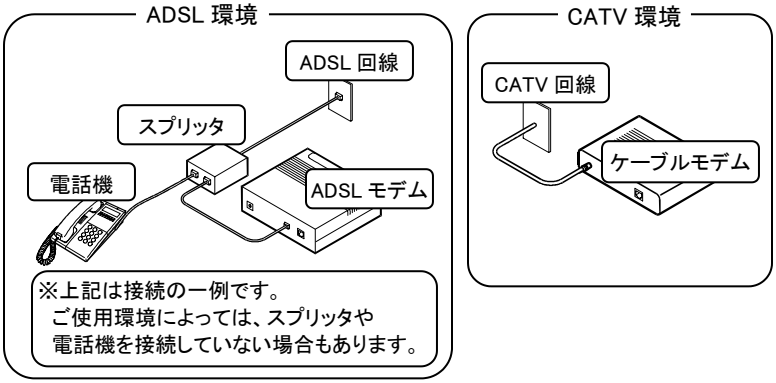
本製品や設定用パソコンを接続します。

ここでのパソコンの接続は、設定用のパソコン 1 台のみです。
他のパソコンは【第2章】の設定をすべて終了した後に接続します。

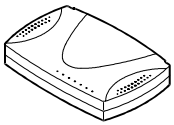
接続時に必要なもの

本製品を接続する際には、以下をご用意ください。

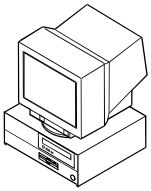
・ADSLまたはCATV環境（既に回線に接続済みの環境）



・本製品



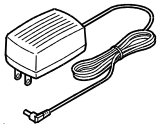
・設定用パソコン



・ADSLおよびケーブルモデム接続用
LANケーブル（本製品との接続用）

・添付のLANケーブル
（ストレート：パソコンとの接続用）

・専用ACアダプタ（本製品添付品）



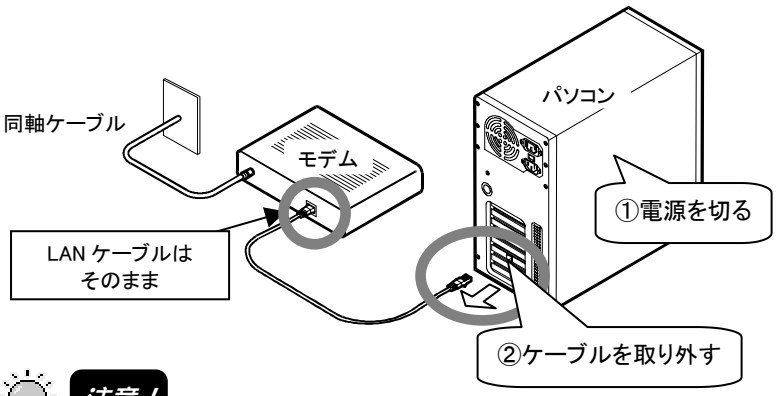
本製品をモデムに接続する

本製品をモデムに接続します。

- ここでは、【ステップ1】(12 ページ)でインターネットに接続できることを確認した後からの作業を説明します。
- 以下の説明中で使用しているイラストは、ケーブルモデムを例にしていますが、ADSL モデムの場合も同様の手順です。

1 インターネットに接続できることを確認します。

2 WindowsおよびMac OSを終了後、パソコンの電源を切り、パソコン側のLANケーブルを取り外します。

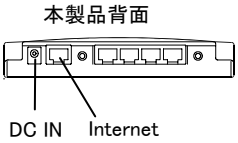


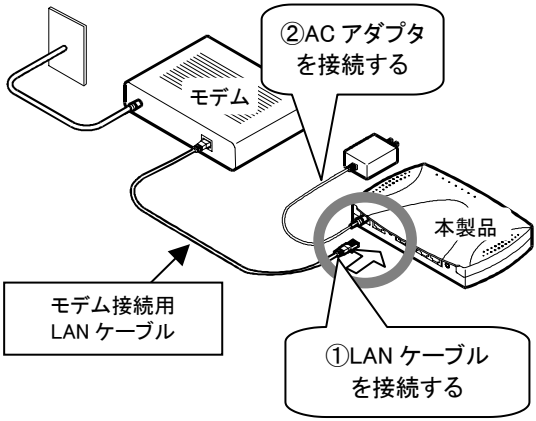
注意！

・モデムの電源を入れ直す場合は、各プロバイダの指示に従ってください。
・LAN ケーブルはモデムに接続したままにしておいてください。
この後、その LAN ケーブルで本製品を接続しますので、モデム側はそのまま接続しておいてください。

3 モデムの電源が入っていることを確認します。

4 本製品の[Internet]コネクタにモデムのLANケーブルを接続します。
[DC IN]コネクタに本製品に添付のACアダプタを接続し電源コンセントに接続します。

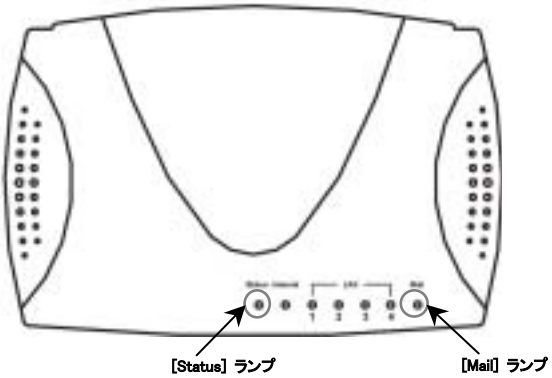


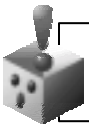


注意！

・AC アダプタは必ず添付のものをご使用ください。
・LAN ケーブルを接続してから AC アダプタを接続してください。
AC アダプタを接続した後に LAN ケーブルを接続すると、本製品を正しく使用できません。
・モデムの電源が入っている状態で接続してください。
電源が入っていないと、本製品を正しく使用できません。
・モデムとの接続は、必ず[Internet]コネクタで接続してください。
他のコネクタに接続すると、本製品を正しく使用できません。
・LAN ケーブルはモデムに適合したケーブルを使用するようにしてください。
モデムの取扱説明書などで確認してから使用してください。

5 **接続後、本製品のすべてのLEDが点灯（約1秒）、消灯ののち、[Mail]ランプがしばらく緑色に点滅(約4秒)してから消灯します。その後[Status]ランプ、[Internet]ランプが点灯(または点滅)していることを、確認してください。**





[Status] [Internet]ランプが
点灯しない場合は…

LAN ケーブルや AC アダプタ
の接続を
再度ご確認ください。

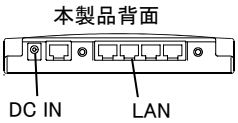
設定用パソコンを本製品に接続する

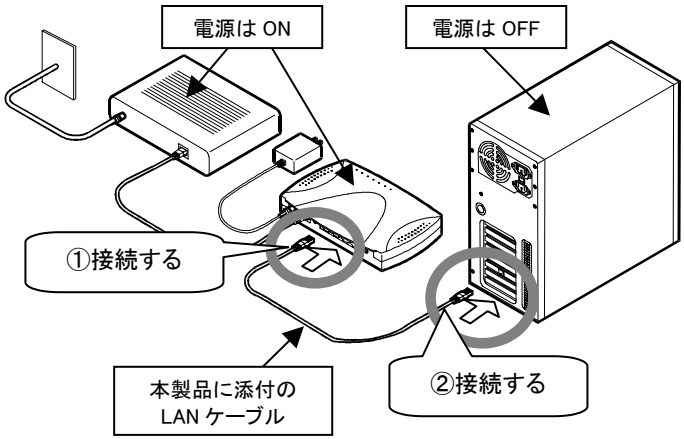
設定用パソコンを本製品に接続します。

1 パソコンの電源が切れていることを確認します。

2 本製品の[Status]ランプが緑色に点灯して、[Mail]ランプが消灯していることを確認します。

3 添付のLANケーブルで本製品の[LAN]コネクタとパソコンを接続します。





注意！

・パソコンの電源はこの後の【ステップ4】で入れます。
パソコンの電源を入れる際は、必ず本製品の電源が入っている状態で、かつ、LAN ケーブルを接続してから行ってください。
・パソコンと本製品を接続する LAN ケーブルは、添付のストレートケーブルを使用してください。
市販の LAN ケーブルでも使用できますが、必ずストレート用 LAN ケーブルを使用してください。

参考

前ページでは、LAN ケーブルを接続する本製品側のコネクタを[LAN]としていますが、[LAN1]～[LAN4]のいずれのコネクタでも問題ありません。
（[Internet]は、本製品とモデム接続用のコネクタです。）

この後、設定用パソコンのIPアドレスを設定します。
次ページへお進みください。

ステップ 4

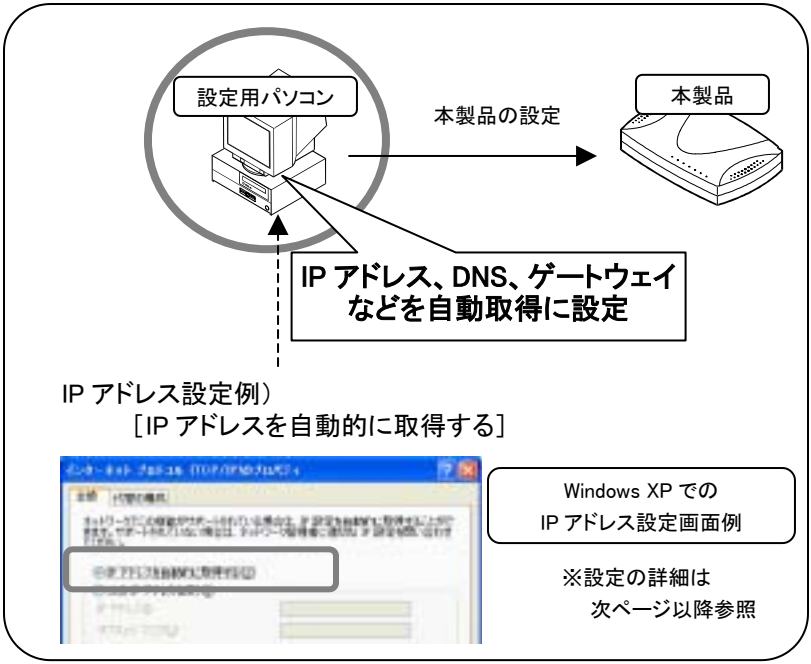
設定用パソコンの準備①
設定用パソコンの IP アドレスを設定する

本製品を使用するには本製品の設定が必要ですが、まず、本製品を設定するパソコン(**設定用パソコン**)のIPアドレスを、自動的に取得する設定(**[IPアドレスを自動的に取得]、[DHCPサーバーから取得]など**)にする必要があります。

参考

本製品を使用するには、接続するすべてのパソコンの IP アドレスを設定する必要があります。
本製品購入時には、本製品が[DHCP サーバー]という IP アドレスをパソコンに「自動的に割り振る」設定となっていますので、パソコン側では、「IP アドレスを自動的に取得する」設定([IPアドレスを自動的に取得]、[DHCPサーバーから取得]など**)にしておけば、パソコン起動時に、自動的に本製品から IP アドレスを取得できるようになります。**
本書では、本製品を[DHCP サーバー]、パソコン側を IP アドレスを自動的に取得する設定[DHCP クライアント]として設定する方法を説明します。
DHCP については、97 ページを参照してください。

次ページ以降の手順で設定してください。



1 設定用パソコンの電源を入れます。

2 設定用パソコンのIPアドレスの設定を行います。
設定はご使用のOSによって異なります。以下の該当する個所へお進みください。

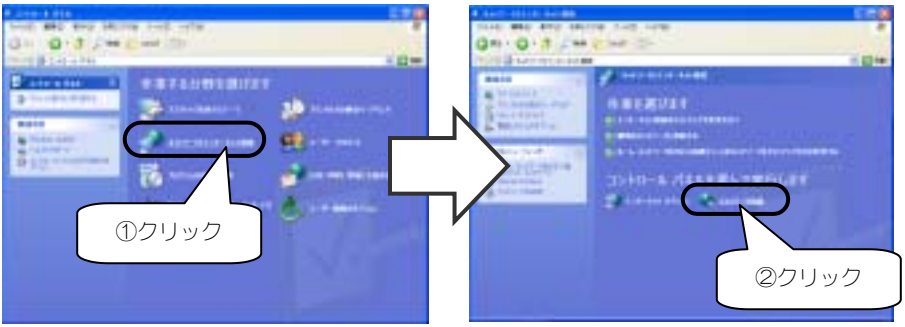
- Windows XPをお使いの場合 → 次ページを参照してください。
- Windows 2000をお使いの場合 → 26ページを参照してください。
- Windows Me/98/95をお使いの場合 → 29ページを参照してください。
- Windows NT 4.0をお使いの場合 → 32ページを参照してください。
- Mac OSをお使いの場合 → 34ページを参照してください。

Windows XP で IP アドレスを設定する

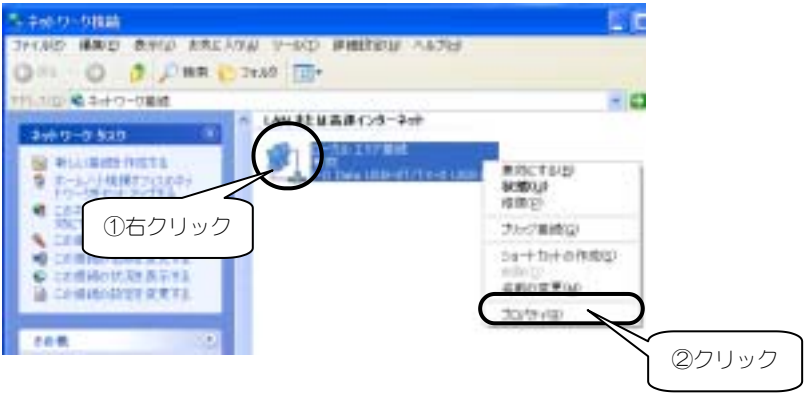
1 Administrator権限でWindows XPにログオンします。

2 [スタートボタン]をクリックし、現れたスタートメニューの中にある[コントロール パネル]をクリックします。

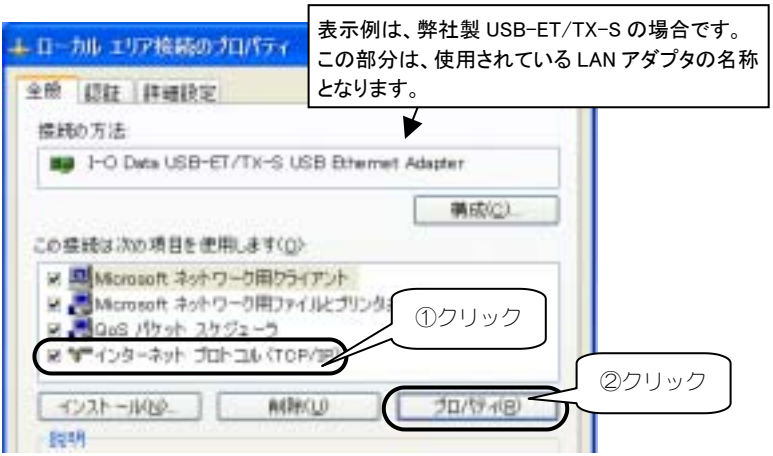
3 [ネットワークとインターネット接続]をクリックし、開いたウィンドウの中にある[ネットワーク接続]をクリックします。



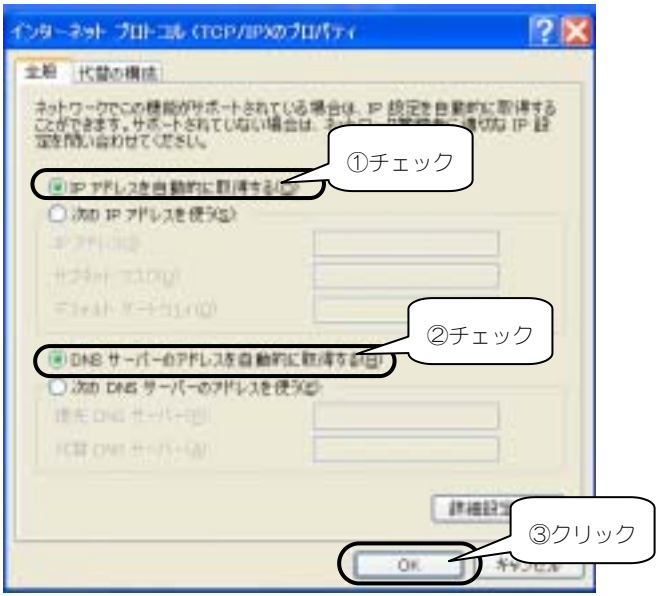
4 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の
[プロパティ]をクリックします。



5 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



6 [IPアドレスを自動的に取得する]をチェックし、
[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をチェック後、
[OK]ボタンをクリックします。



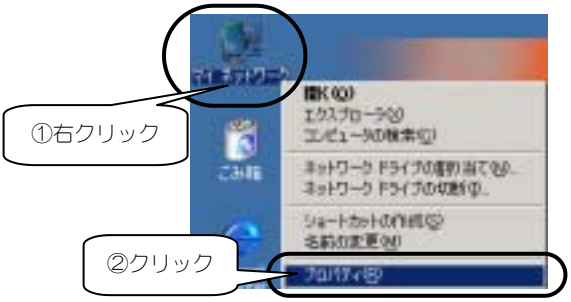
7 パソコンを一度再起動します。

この後、【ステップ5】(35ページ)を参照して、パソコンにIPアドレスが正常に取得されているか確認してください。

Windows 2000 で IP アドレスを設定する

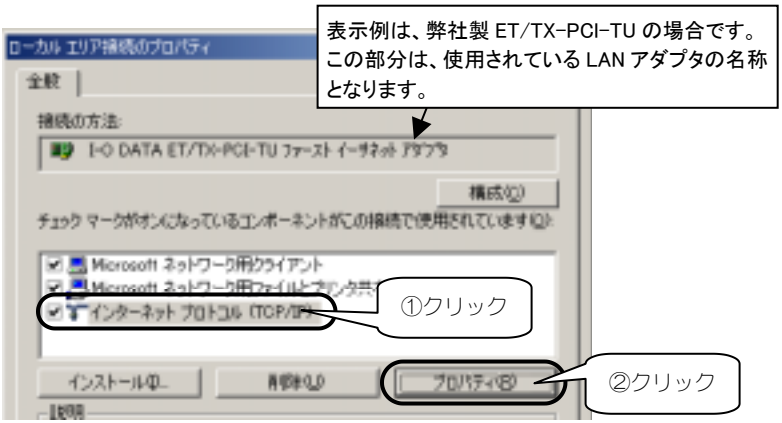
1 Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

2 [マイ ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

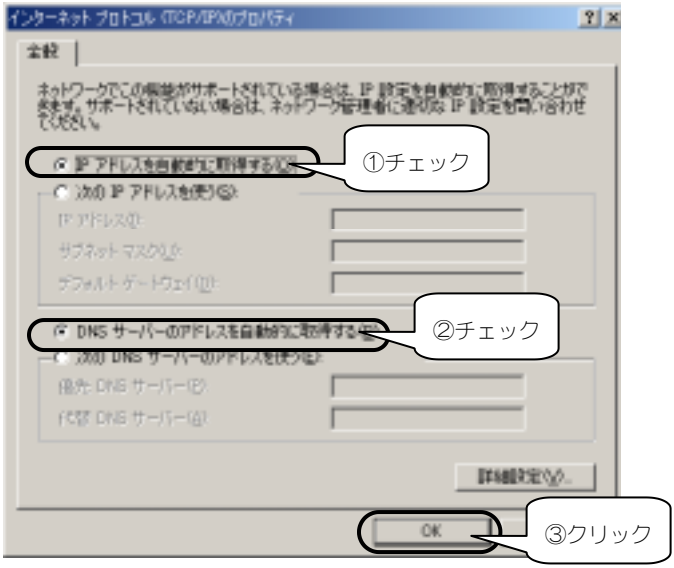


3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の
[プロパティ]をクリックします。

4 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



5 [IPアドレスを自動的に取得する]をチェックし、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をチェック後、[OK]ボタンをクリックします。

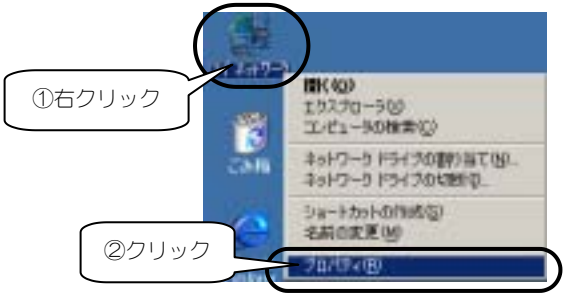


6 パソコンを一度再起動します。

この後、【ステップ5】(35 ページ)を参照して、パソコンに IP アドレスが正常に取得されているか確認してください。

Windows Me/98/95 で IP アドレスを設定する

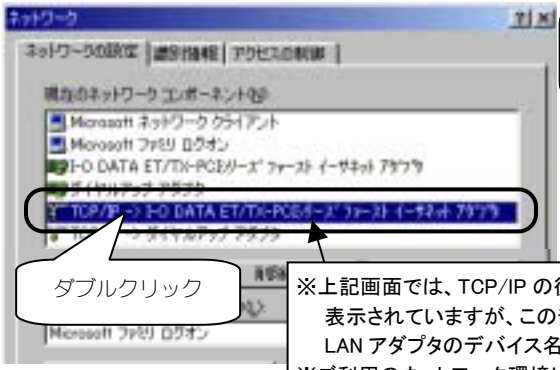
1 [マイ ネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



2 [TCP/IP]（あるいは[TCP/IP -> xxxxxxx]）をダブルクリックします。

（xxxxxxxxはLANアダプタのデバイス名の名称です。）

※アダプタが複数ある場合に、[TCP/IP -> xxxxxxxx]と表示されます。
[TCP/IP -> xxxxxxxx]をダブルクリックしてください。



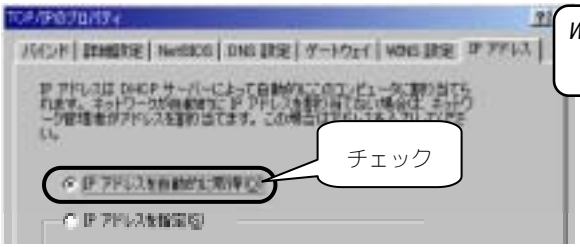
Windows 98 での表示例

※上記画面では、TCP/IP の後に「I-O DATA‥‥」と表示されていますが、この部分は使用されている LAN アダプタのデバイス名の名称となります。
※ご利用のネットワーク環境によっては、「TCP/IP」のみが表示される場合もあります。

Windows Me/98/95 で TCP/IP が表示されていない場合は…

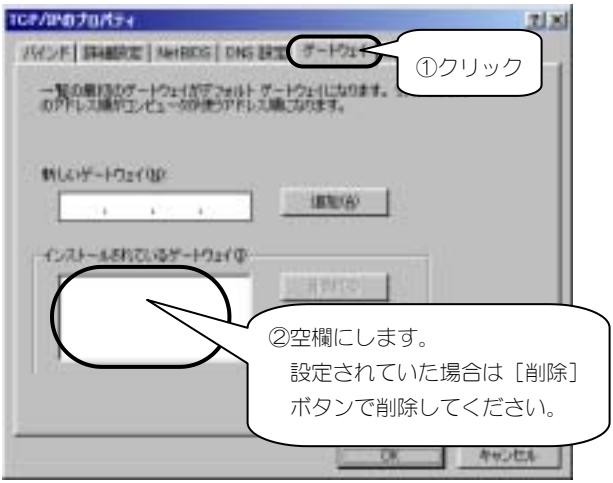
【困ったときには】の 79 ページをご参照ください。

3 [IPアドレスを自動的に取得]をチェックします。



4 [DNS設定]タブをクリック後、
[DNSを使わない]をチェックします。

5 ［ゲートウェイ］タブをクリック後、
すでに設定されているゲートウェイがある場合は、［削除］ボタンで設定を削除してください。



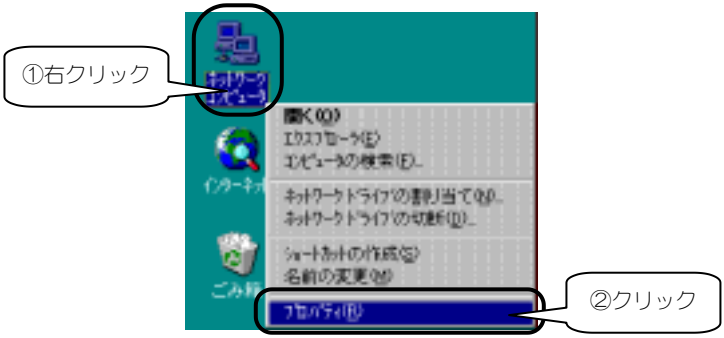
6 ［OK］ボタンをクリック後、パソコンを一度再起動します。

この後、【ステップ5】(35 ページ)を参照して、パソコンに IP アドレスが正常に取得されているか確認してください。

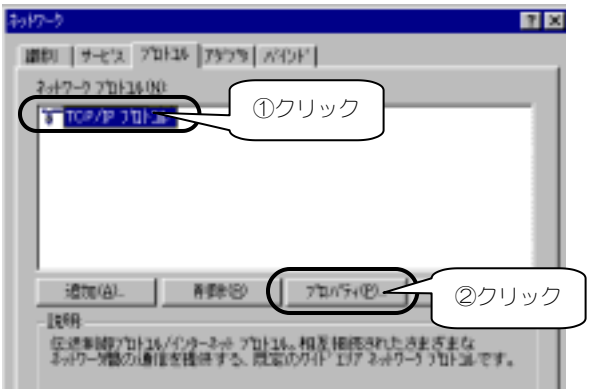
Windows NT 4.0 で IP アドレスを設定する

1 Administrator権限でWindows NT 4.0にログオンします。

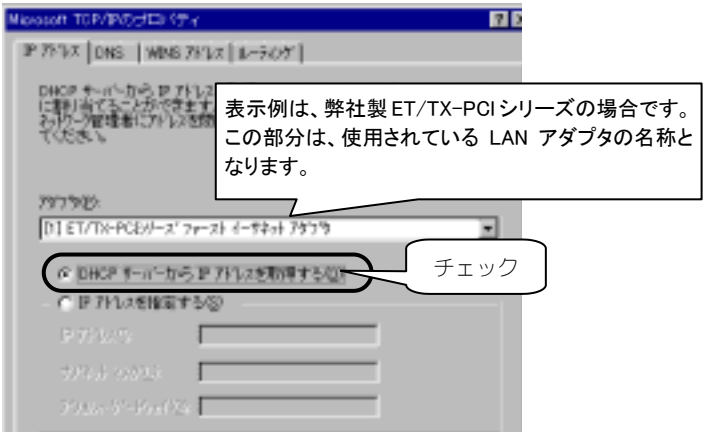
2 [ネットワークコンピュータ]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



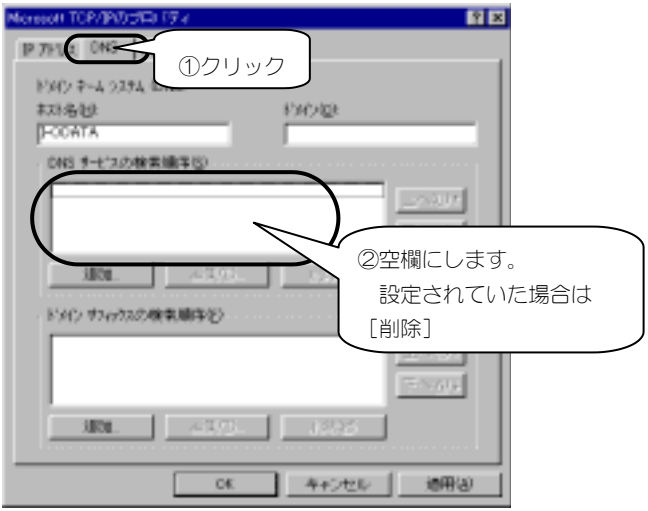
3 [TCP/IP プロトコル]をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



4 [IPアドレス]タブで
[DHCPサーバーからIPアドレスを取得する]をチェックします。



5 [DNS]タブをクリック後、
すでに設定されているDNSサービスがある場合は、[削除]ボタンで削除してください。



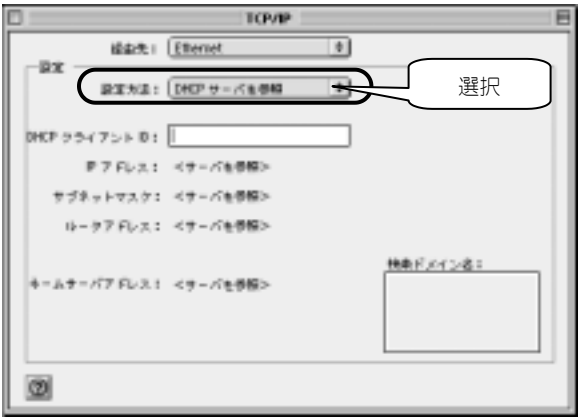
6 [OK]ボタンをクリック後、パソコンを一度再起動します。

この後、【ステップ5】(35 ページ)を参照して、パソコンに IP アドレスが正常に取得されているか確認してください。

Mac OS で IP アドレスを設定する

1 [アップルメニュー]→[コントロールパネル]内の[TCP/IP]をクリックします。

2 [DHCPサーバを参照]を選択し、画面を閉じます。



この後、【ステップ5】(次ページ)を参照して、パソコンに IP アドレスが正常に取得されているか確認してください。

ステップ 5

設定用パソコンの準備②
設定したIPアドレスを確認する

ここでは、【ステップ4】(21ページ) で設定したIPアドレスを、
パソコンで正常に取得できているかを確認します。

● Windows XP/2000/NT 4.0の場合	→	以下を参照してください。
● Windows Me/98/95の場合	→	37ページを参照してください。
● Mac OSの場合	→	39ページを参照してください。

Windows XP/2000/NT 4.0 でのIPアドレスの確認

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

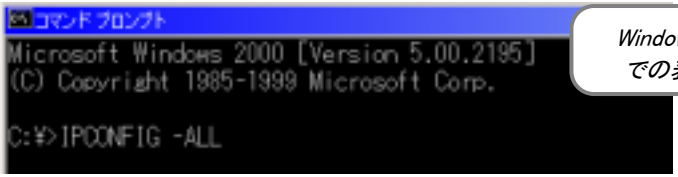
・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]

・Windows NT 4.0の場合

[スタート]→[プログラム]→[コマンドプロンプト]

2 IPCONFIG –ALL
と入力し、[ENTER]キーを押します。
(Windows NT 4.0の場合は、1画面に収まらないため、
IPCONFIG –ALL | MORE と入力してください。)



Windows2000 での表示例

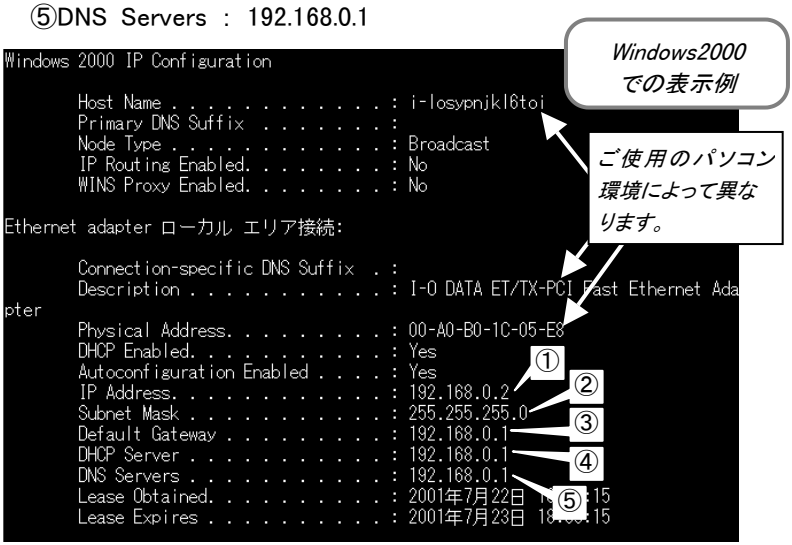
3 「Windows IP Configuration」画面が表示されます。

※Windows 2000の場合は、「Windows 2000 IP Configuration」となります。以降、同様。

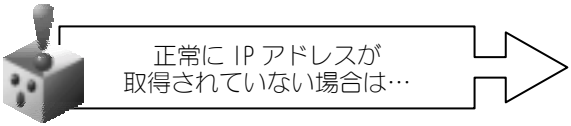
4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続:]に表示されている値を確認します。

[Windows IP Configuration]画面では、それぞれ次のアドレスを確認します。

①IP Address : 192.168.0.xxx （xxx は2～129）
②Subnet Mask : 255.255.255.0
③Default Gateway : 192.168.0.1
④DHCP Server : 192.168.0.1
⑤DNS Servers : 192.168.0.1



（IPCONFIGの画面例）



【困ったときには】の
76 ページを
ご参照ください。

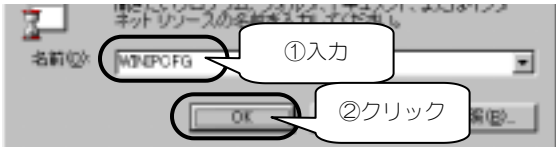
4 EXIT ↵ と入力し、画面を閉じます。

この後、【ステップ6】(40 ページ)を参照して、Web ブラウザの設定を行ってください。

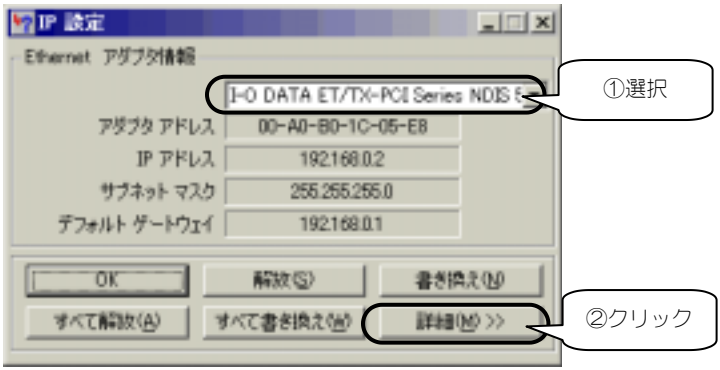
Windows Me/98/95 での IP アドレスの確認

1 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

2 [名前]に WINIPCFG と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



3 お使いのアダプタを選択し、[詳細]ボタンをクリックします。



4 [IP設定]画面では、それぞれ次のアドレスを確認します。

①DNSサーバー ： 192.168.0.1
②IPアドレス ： 192.168.0.xxx （xxx は2～129）
③サブネットマスク ： 255.255.255.0
④デフォルトゲートウェイ ： 192.168.0.1
⑤DHCPサーバー ： 192.168.0.1

ご使用のパソコン環境によって異なります。

正常に IP アドレスが
取得されていない場合は…

【困ったときには】の
76 ページを
ご参照ください。

5 [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

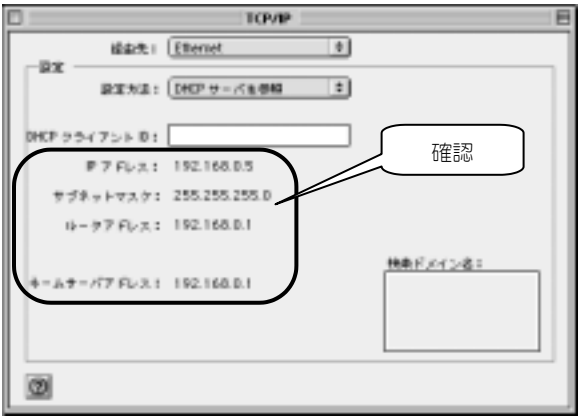
確認後、【ステップ6】(40ページ)を参照して、Webブラウザの設定を行ってください。

Mac OS での IP アドレスの確認

1 [アップルメニュー]→[コントロールパネル]内の
[TCP/IP]をクリックします。

2 [TCP/IP]画面では、それぞれ次のアドレスを確認します。

①IPアドレス　　：192.168.0.xxx　（xxx は2～129）
②サブネットマスク　：255.255.255.0
③ルータアドレス　　：192.168.0.1
④ネームサーバアドレス：192.168.0.1



正常に IP アドレスが
取得されていない場合は…

【困ったときには】の
76 ページを
ご参照ください。

5 [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

確認後、【ステップ6】(40ページ)を参照して、Webブラウザの設定を行ってください。

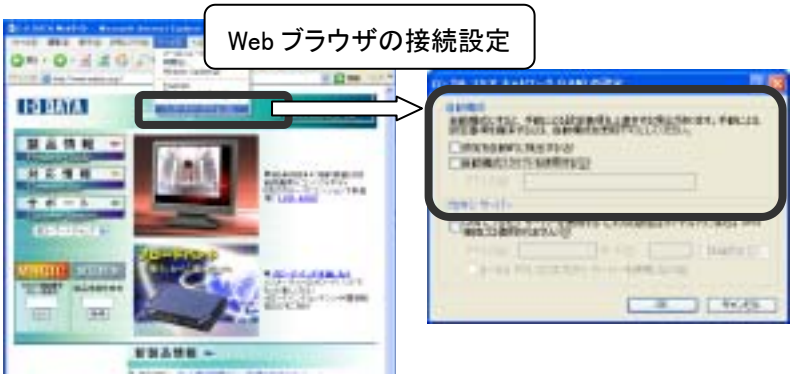
ステップ 6

設定用パソコンの準備③
Web ブラウザを設定する

本製品の設定や本製品経由でインターネットに接続するには、Web ブラウザ（Internet Explorer や Netscape Communicator など）の接続設定をしておく必要があります。
下記２点に注意し設定してください。

①LAN を使用してインターネットに接続する。
②プロキシサーバーを設定する。

Web ブラウザの接続設定



注意！

Internet Explorer および Netscape Communicator の Web ブラウザをお使いになる場合は、【本製品を導入する上で必要なもの】の【必要なソフトウェア】（5ページ）の項を参照して、必要なバージョンをご確認ください。
なお、本製品に Web ブラウザは添付しておりません。
Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必ず必要なバージョン以降をご用意ください。

- ***Windowsをお使いの場合*** → 次ページを参照してください。
- ***Mac OSをお使いの場合*** → 47ページを参照してください。

Windows での Web ブラウザの設定

注意！

プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。
まず、プロバイダから入手した資料をご用意ください。

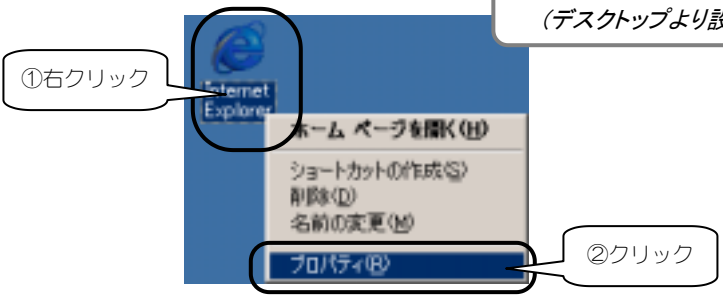
Internet Explorer （Windows 版） での手順

1 デスクトップ画面上の[Internet Explorer]アイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

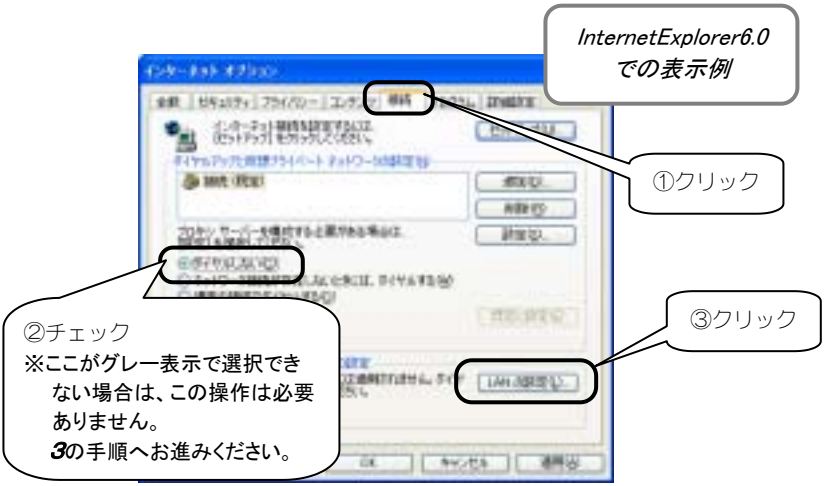
※WindowsXPでは、スタートメニュー内の[Internet Explorer]アイコンを右クリック。

WindowsXP での表示例
（スタートメニューより設定）

Windows98 での表示例
（デスクトップより設定）

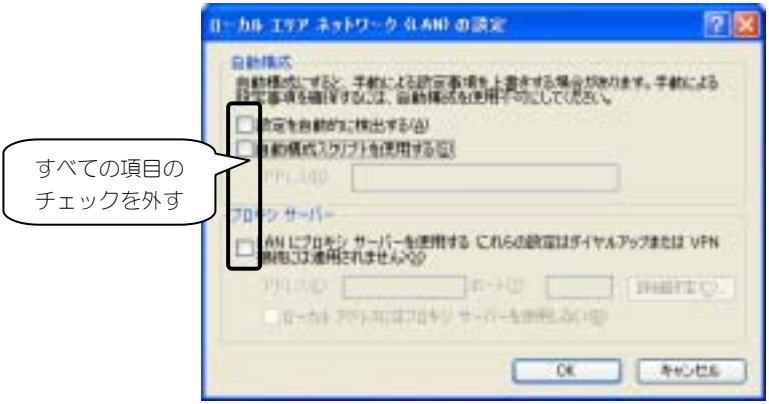


2 [接続]タブをクリックし、
[ダイヤルアップの設定]にて[ダイヤルしない]をチェックします。
続けて、[LANの設定]ボタンをクリックします。

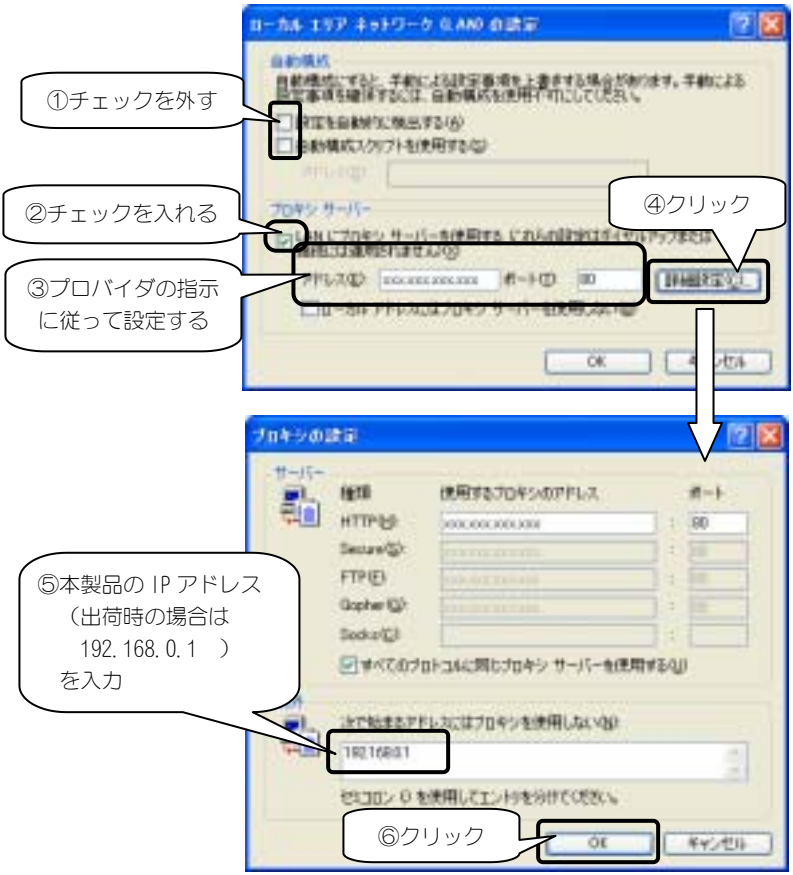


3 プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がない場合



●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合



4 ［ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定］画面で
［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

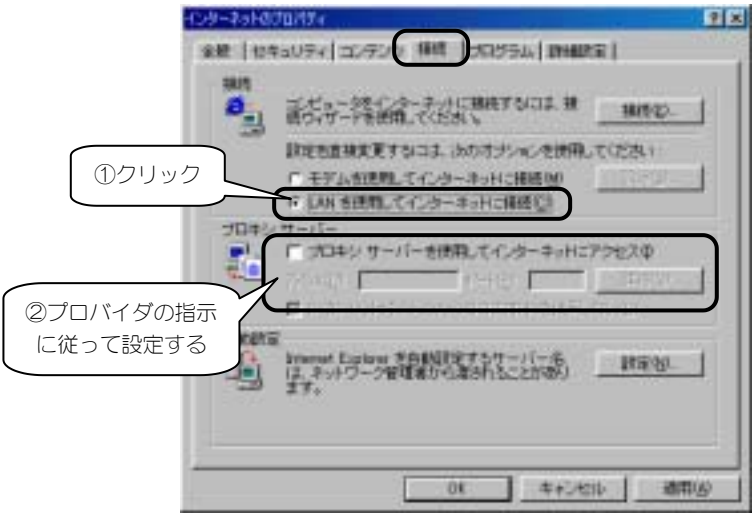
5 ［インターネットのプロパティ］画面へ戻りますので、
［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

設定後、【ステップ7】(51 ページ)へお進みください。

参考

Internet Explorer のバージョンによっては、手順 *3* の時に以下の画面となる場合があります。
その場合は、[接続]タブで[LAN を使用してインターネットに接続]をチェックします。
その後、以下の手順を行います。

- **プロバイダからプロキシに関する設定の指示がない場合**
  [プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス]のチェックを外し、[OK]ボタンをクリックします。
- **プロバイダからプロキシに関する設定の指示がある場合**
  [プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス]をチェックし、[アドレス]と[ポート]を入力後、[詳細]ボタンをクリックします。
  [プロキシの設定]画面での設定は、前ページを参照してください。
  設定後、[OK]ボタンをクリックします。



Netscape Communicator （Windows 版） での手順

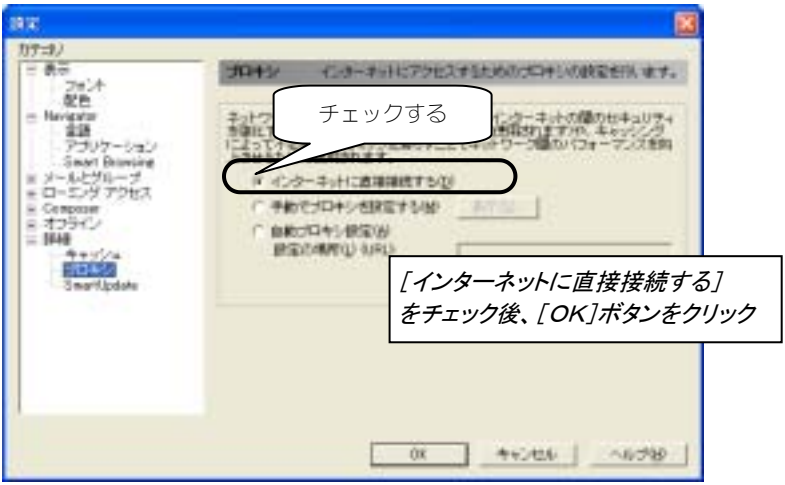
1 Netscape Communicatorを起動します。

2 [編集]→[設定]を選択します。

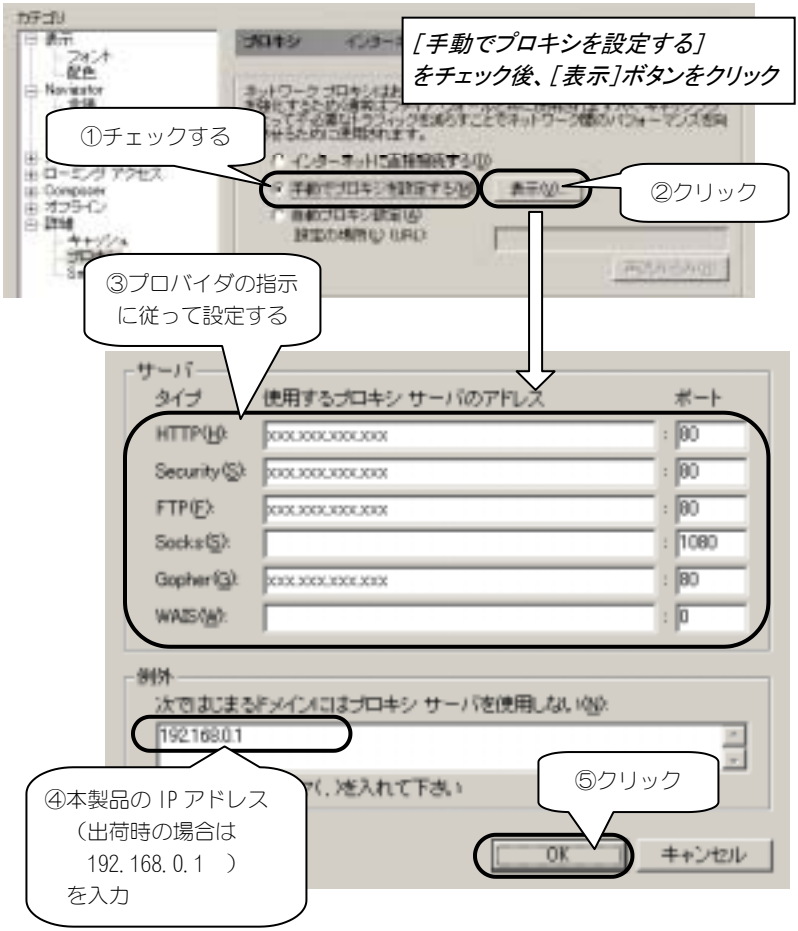
3 [カテゴリ]欄で[詳細]をダブルクリックし、
[プロキシ]をクリックします。

4 プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の
指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がない場合



●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合



5 ［設定］画面で[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

設定後、【ステップ7】(51 ページ)へお進みください。

Mac OS での Web ブラウザの設定

Internet Explorer （Mac OS 版） での手順

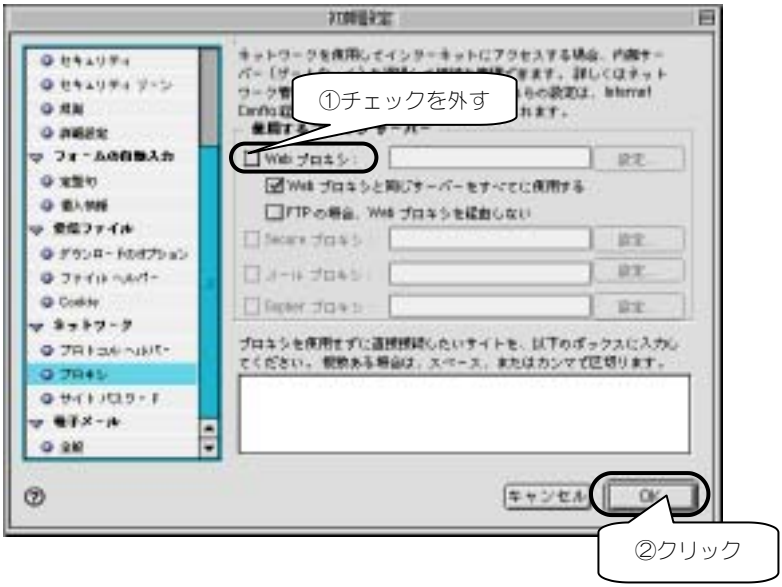
1 Internet Explorerを起動します。

2 [編集]→[初期設定...]を選択します。

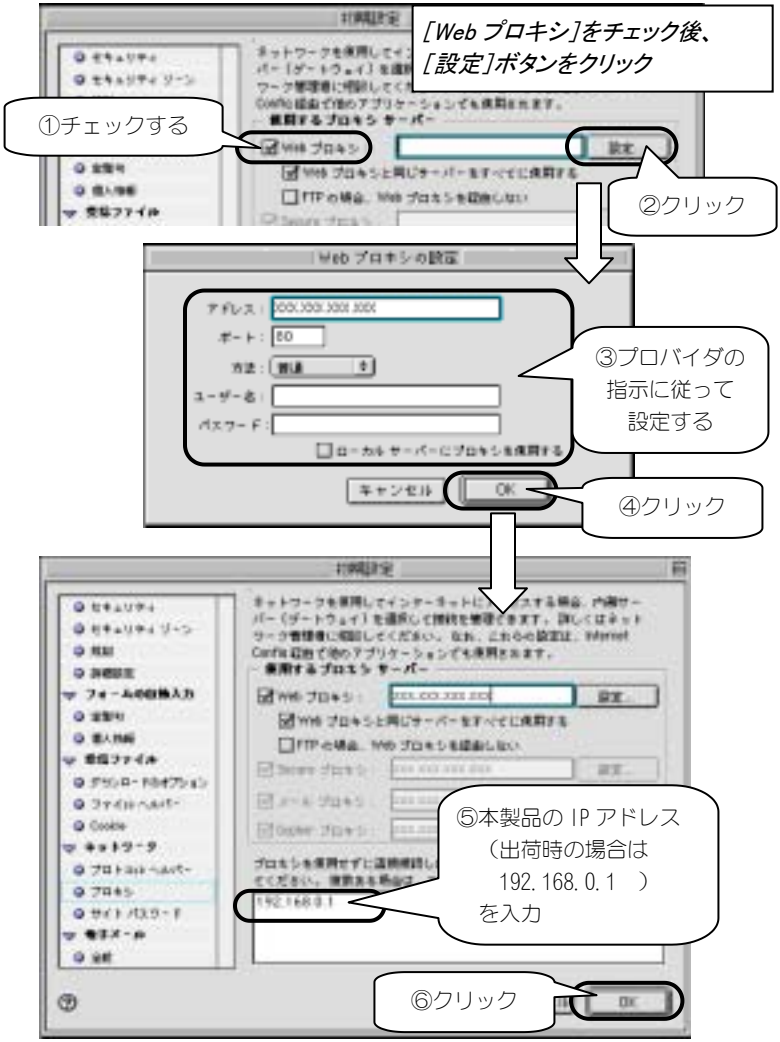
3 [▽ネットワーク]の[プロキシ]を選択します。

4 プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がない場合



●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合



設定後、【ステップ7】(51 ページ)へお進みください。

Netscape Communicator （Mac OS 版） での手順

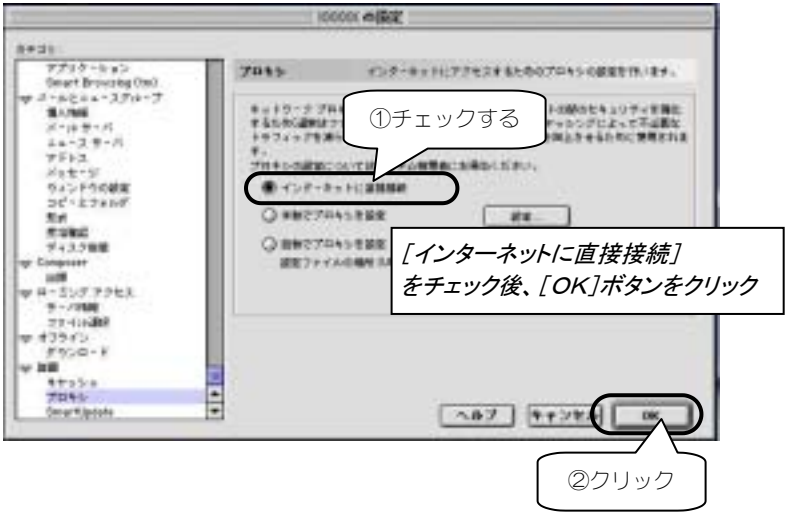
1 Netscape Communicatorを起動します。

2 [編集]→[設定...]を選択します。

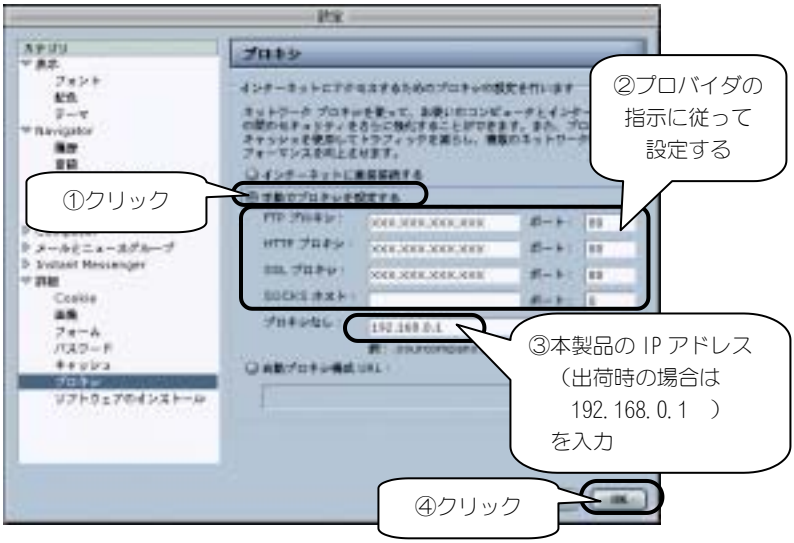
3 [カテゴリ]欄で[▽詳細]の[プロキシ]を選択します。

4 プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がない場合



●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合



設定後、【ステップ7】(次ページ)へお進みください。

ステップ 7

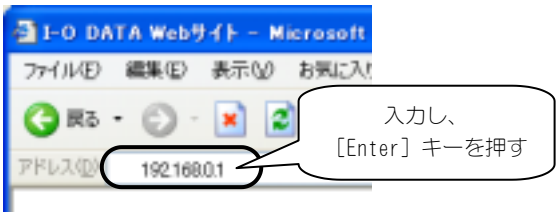
本製品の設定①
Web ブラウザから設定画面を起動する

本製品を使用するには、Internet Explorer や Netscape Communicator などの Web ブラウザから設定画面を起動して各種設定を行う必要があります。

1 パソコンの電源を入れます。

2 Webブラウザを起動して以下のIPアドレスを開きます。
「192.168.0.1」

（Internet Explorerでの例）



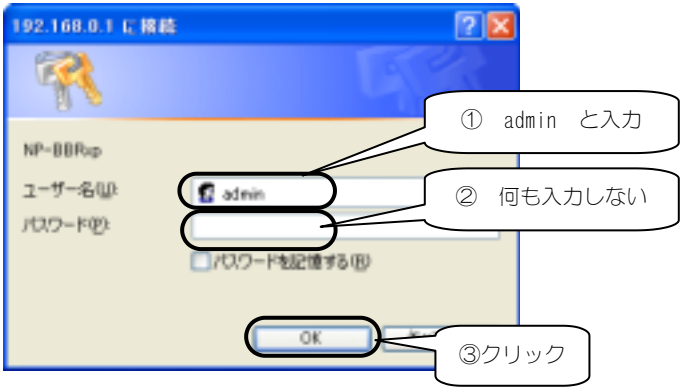
注意！

1)Internet Explorer および Netscape Communicator の Web ブラウザをお使いになる場合は、【本製品を導入する上で必要なもの】の【必要なソフトウェア】（5ページ）の項を参照して、必要なバージョンをご確認ください。
なお、本製品に Web ブラウザは添付しておりません。
Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必要なバージョン以降をご用意ください。

2)上記 IP アドレスは、本製品内部にある設定画面を呼び出す IP アドレスです。
パソコンにLANケーブルで本製品が接続されていれば（インターネットに接続されていなくても）呼び出すことができます。

3 以下の画面が表示されます。
以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザー名	admin ※小文字で入力してください。
パスワード	空白（何も入力する必要はありません。） ※工場出荷時は未設定です。



参考

・パスワード(出荷時は[空白])は、後で設定することができます。
詳細は、オンラインヘルプ(利用方法は、72 ページ)を参照してください。
・[このパスワードの保存する]をチェックすると、次回からパスワードが入力された状態で表示されますので、パスワード入力の手順を省けます。セキュリティの必要に応じてお使いください。

上記の画面が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
75 ページを
ご参照ください。

4 設定画面が表示されます。
この画面から各種設定を行います。
次ページへお進みください。

ステップ 8

本製品の設定②

ADSL や CATV 接続を設定する

ADSL や CATV に接続するには、本製品の設定が必要です。

参考

本製品を使用するには、IP アドレス、DHCP などのネットワークの知識が必要です。お分かりにならない場合は、【付録3　TCP/IP の基礎知識】(93 ページ)を参照してください。

設定時に必要なもの

設定用パソコンに接続する際には、以下をご用意ください。

①プロバイダからの資料

※本製品設定時に、プロバイダから入手した資料で、[ユーザーID]や[パスワード]を設定します。

設定する

最初に、以下の個所へお進みください。

・CATVでご利用になる場合

【CATVで使用する場合の設定】(次ページ)へお進みください。

・ADSLでご利用になる場合

【ADSLで使用する場合の設定】(60ページ)へお進みください。

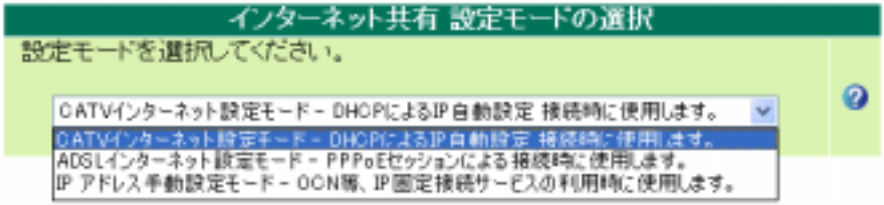
注意！

ルータタイプの ADSL モデムおよび PPPoE 認証を行わないサービスを
お使いの場合は、接続先が ADSL であっても
【CATV で使用する場合の設定】(次ページ)の方へお進みください。

・IP固定サービスでご利用になる場合

【IPを手動設定で使用する場合の設定】(66ページ)へお進みください。

各設定モードは、設定画面の[インターネット共有 設定モードの選択]のプルダウンメニューより選択します。



CATV インターネット設定モード
次ページ【CATV で使用する場合の設定】へ

ADSL インターネット設定モード
60 ページ【ADSL で使用する場合の設定】へ

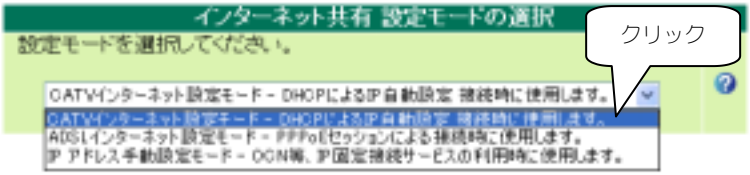
IP アドレス手動設定モード
66 ページ【IP を手動設定で使用する場合の設定】へ

CATV で使用する場合の設定

ここでは、CATV接続で使用する場合の設定について説明します。

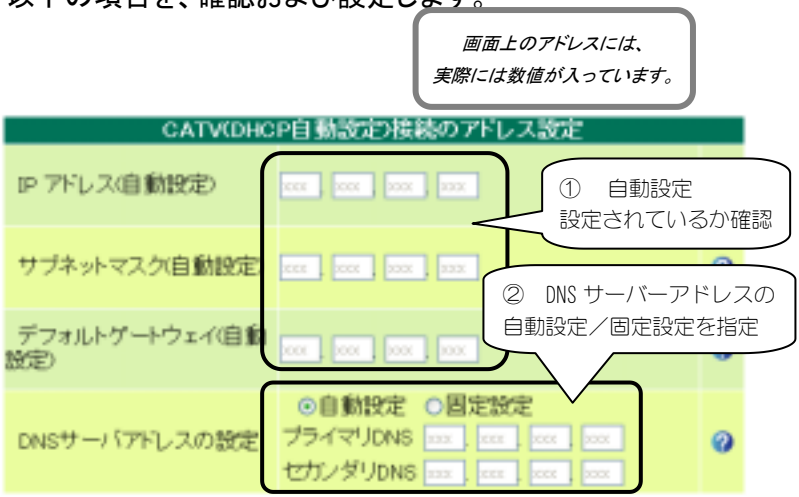
1 [CATVインターネット設定モード]をメニューから選択します。

※初期設定は、[CATVインターネット設定モード]となっています。



2 以下の画面が表示されます。
次ページを参照して設定してください。

3 以下の項目を、確認および設定します。



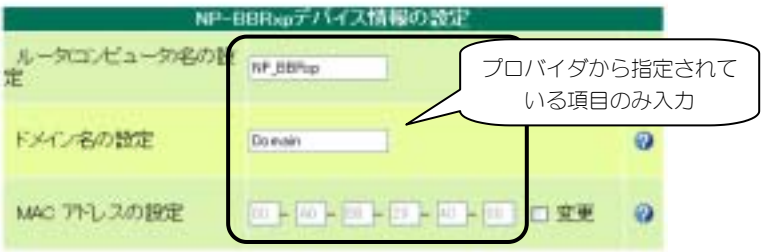
IP アドレス	プロバイダ側の DHCP サーバより IP アドレスを自動取得します。 取得されているかどうか、数値を確認してください。 ※取得できていない場合は、0.0.0.0 となります。 プロバイダより、固定値で割り当てられている場合は、66 ページ【IP を手動設定で使用する場合の設定】に従ってください。
サブネットマスク	自動設定されます。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダ側の DHCP サーバよりデフォルトゲートウェイの IP アドレスを自動取得します。
DNS サーバアドレスの設定	DNS サーバアドレスの設定です。 [自動設定](初期値) チェックした場合、自動で DNS サーバアドレスを取得する設定になります。 [固定設定] プロバイダより DNS サーバアドレスが指定されている場合、チェックを入れて、[プライマリ DNS]および[セカンダリ DNS]に、値を入力します。 ※1 つしか割り当てられていない場合は、[プライマリ DNS]のみに値を入力します。

参考

ルータタイプの ADSL モデムに接続してご利用になる場合は、モデムが PPPoE 接続を行いますので、本製品に PPPoE 設定を行う必要はありません。
通常の NAT ルータとしての設定で接続できるようになります。

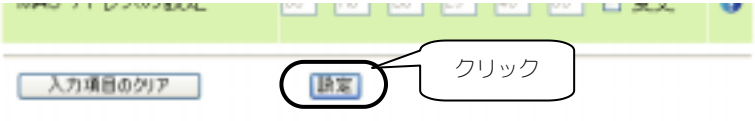
基本的にこれだけの設定で CATV 接続ができます。
接続方法およびコンピュータ名等、プロバイダの指定がある場合などは、以下の設定を行ってください。

●プロバイダからDNSサーバなどの指示がある場合の追加設定



ルータ(コンピュータ)名の設定	パソコンとケーブルモデムを直接接続した際にパソコンへ設定するコンピュータ名を、プロバイダから指定されている場合は、指定のコンピュータ名を入力します。
ドメイン名の設定	プロバイダからドメイン名が指定されている場合は、指定のドメイン名を入力します。
MAC アドレスの設定	プロバイダにネットワークアダプタの MAC アドレスを登録済みで、その MAC アドレスをそのまま NP-BBRxp で利用したい場合に、設定します。 [変更]にチェックの後、MAC アドレスを入力します。

4 すべて設定したら、
画面下の[設定]ボタンをクリックします。



参考

[設定]ボタンをクリックすると、設定した内容で本製品を設定後、本製品内部で再起動（リスタート）を行います。

5 以下の画面が表示されます。（画面上は[設定が完了しました。]と表示されていますが、この時点では、まだ本製品内部は再起動中の状態です。）
約20秒カウント後、自動で最初の設定画面に戻ります。

注意！

4 の手順で[設定]ボタンをクリック後、設定を保存するために本製品内部で再起動を行います。[設定]ボタンクリック後、上記画面が表示されても、まだ内部で再起動の状態が続いていますので、[設定]ボタンをクリックしてから、約20秒カウント後、最初の設定画面に戻るまでは、操作を行わないでください。

6 接続しているパソコンをすべて再起動してください。

以上でCATVでの設定は終了です。

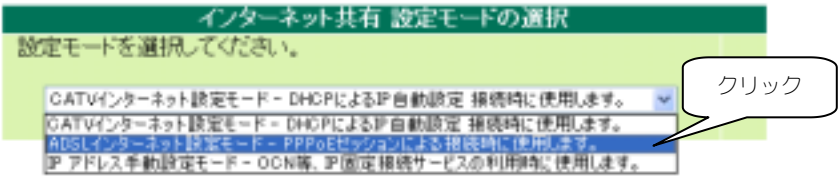
ADSL で使用する場合の設定

ここでは、ADSL 接続で使用する場合の設定について説明します。

注意！

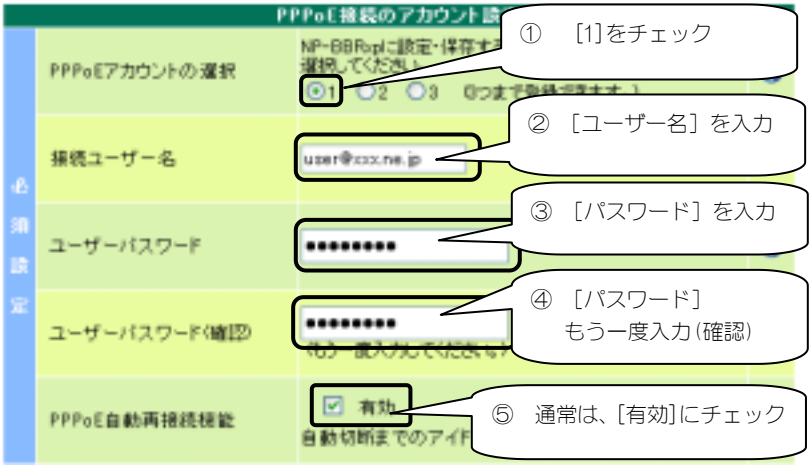
ルータタイプの ADSL モデムをお使いの場合や PPPoE 認証を行わないサービスをお使いの場合は、以下の設定ではなく、【CATV で使用する場合の設定】(56 ページ)を行ってください。

1 [ADSLインターネット設定モード]をメニューから選択します。



2 以下の画面が表示されます。
次ページ以降を参照して設定してください。

3　以下の必須設定項目を設定します。



PPPoE アカウントの選択	アカウントを登録する番号を 1～3 の中から選択します。 ※3 つまでアカウントを登録できます。初めて設定される場合は、[1]を選択します。
接続ユーザー名	プロバイダ指定のユーザー名を入力します。 ※フレッツ・ADSL の場合は、@から後ろもすべて入力してください。最大 52 文字まで入力できます。。
ユーザーパスワード	プロバイダ指定の接続パスワードを入力します。 ※最大 36 文字まで入力できます。
ユーザーパスワード（確認）	確認のため、パスワードを、もう一度入力します。
PPPoE 自動再接続機能	[有効]にすると、PPPoE セッションを確立してから、何らかの要因で切断するようなことがあっても自動的に再接続を行います。 [有効]にしない場合は、アイドル時間を設定することにより、自動的に PPPoE セッションを切断します。

基本的にここまでの設定で ADSL 接続ができます。
接続方法および DNS サーバなど、プロバイダの指定がある場合などは、次ページの設定も行ってください。

●プロバイダからDNSサーバなどの指示がある場合の追加設定

①	PPPoE サービス名	プロバイダから PPPoE サービス名を指定されている場合は、入力します。 ※通常は必要ありません。
②	固定 IP アドレス の設定	プロバイダから IP アドレスが固定で割り当てられている場合は、[有効]にチェックし IP アドレスを入力します。
③	DNS サーバアドレス の設定	プロバイダから DNS サーバアドレスが指定されている場合は、[有効]にチェックします。 チェック後、プライマリおよびセカンダリの DNS サーバの IP アドレスを入力します。 ※プロバイダより 1 つしか指定されていない場合は、プライマリのみ入力します。
④	ルータ （コンピュータ） 名の設定	プロバイダからコンピュータ名が指定されている場合は、指定のコンピュータ名を入力します。
⑤	ドメイン名 の設定	プロバイダからドメイン名が指定されている場合は、指定のドメイン名を入力します。
⑤	MAC アドレス の設定	変更の場合は[変更]をチェックし、希望の MAC アドレスを入力します。 ※通常は設定不要です。

4 すべて設定したら、
画面下の[設定]ボタンをクリックします。

参考

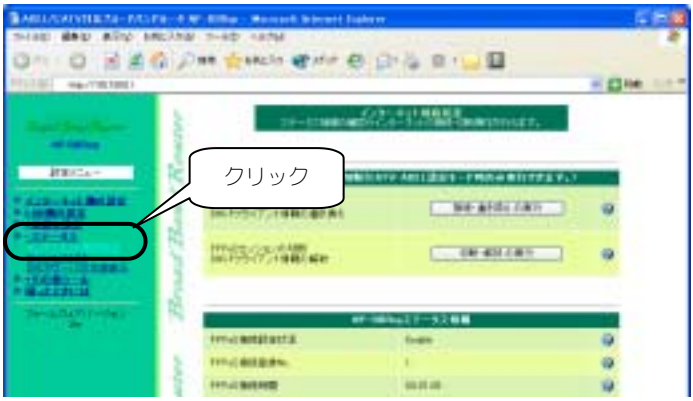
[設定]ボタンをクリックすると、設定した内容で本製品を設定後、本製品内部で再起動（リスタート）を行います。

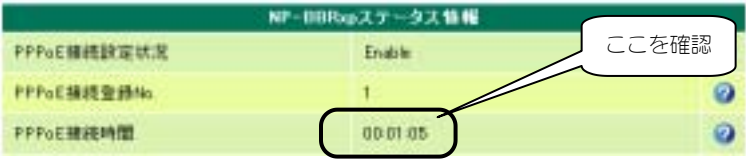
5 以下の画面が表示されます。（画面上は[設定が完了しました。]と表示されていますが、この時点では、まだ本製品内部は再起動中の状態です。）
約20秒カウント後、自動で最初の設定画面に戻ります。

注意！

4 の手順で[設定]ボタンをクリック後、設定を保存するために本製品内部で再起動を行います。[設定]ボタンクリック後、上記画面が表示されても、まだ内部で再起動の状態が続いていますので、[設定]ボタンをクリックしてから、約20秒カウント後、最初の設定画面に戻るまでは、操作を行わないでください。

6 設定内容が正しく行われたかを確認します。
画面左の[設定メニュー]の[ステータス]をクリックし、そのメニュー中の[インターネット接続状況]をクリックします。
[PPPoE接続時間]欄に、接続時間が出ているかを確認します。





●[PPPoE接続時間]欄が[時 : 分 : 秒]になっている場合

ADSL接続が完了し、インターネットに接続できる状態です。

●[PPPoE接続時間]欄が[(Not connected)]になっている場合

プロバイダとの接続が切れている、もしくは正常に接続できていない状態です。
設定が正しくできていない可能性があります。
再度[ユーザー名]や[パスワード]を確認してください。

設定したのに、[(Not connected)]になっている場合は…

【困ったときには】の 81 ページをご参照ください。

7 以上でADSLに接続されます。
インターネットなどをご利用ください。

8 インターネットなどを手動で切断する場合は、
[PPPoEセッションの切断・DHCPクライアント情報の解放]欄の
[切断・解放の実行]ボタンをクリックします。

注意！

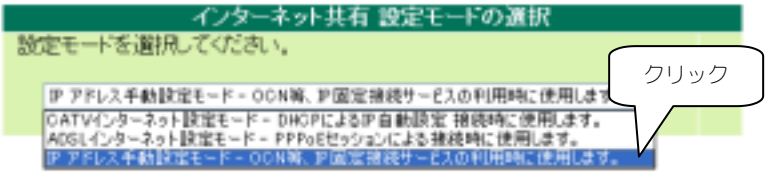
8の手順で PPPoE セッションを切断した場合、インターネットなどを再度接続するには、
[PPPoE セッションの開始・DHCP クライアント情報の書き換え]欄の
[接続・書き換えの実行]ボタンをクリックします。
※自動再接続機能を無効にしている場合

以上でADSLでの設定・接続は終了です。

IP を手動設定で使用する場合の設定

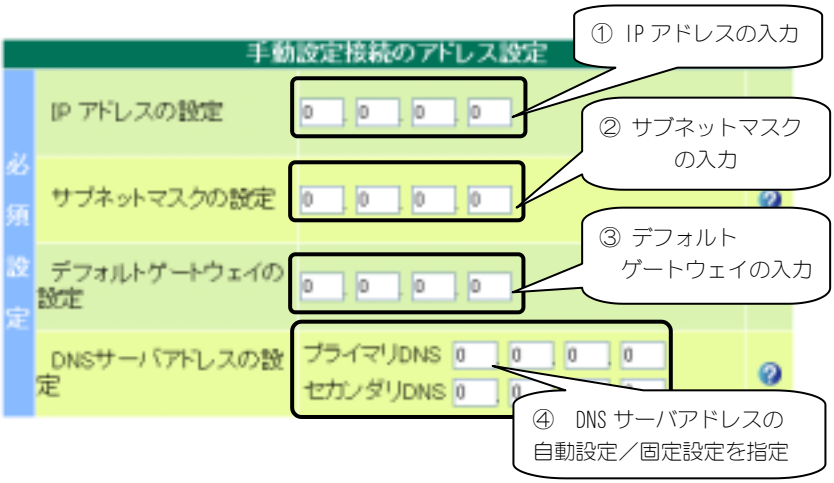
ここでは、IPアドレスを手動設定で使用する場合の設定について説明します。

1 [IP アドレス手動設定モード]をメニューから選択します。



2 以下の画面が表示されます。
次ページを参照して設定してください。

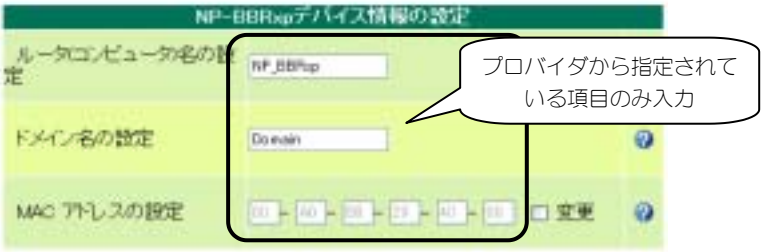
3 以下の項目を、確認および設定します。



IP アドレスの設定	プロバイダより割り当てられている、固定 IP アドレスを入力します。 ※自動取得のプロバイダの場合は、56 ページ【CATV で使用する場合の設定】に従ってください。
サブネットマスクの設定	プロバイダから指定されたアドレスを入力します。
デフォルトゲートウェイの設定	プロバイダから指定されたアドレスを入力します。
DNS サーバアドレスの設定	プロバイダから指定された DNS サーバアドレスを、[プライマリ DNS]および[セカンダリ DNS]それぞれ入力します。 ※プロバイダから 1 つしか割り当てられていない場合は、[プライマリ DNS]のみ入力します。

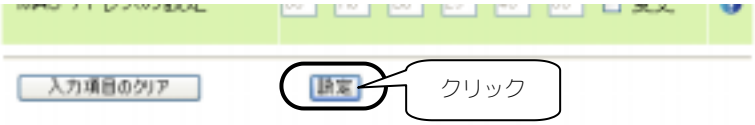
基本的にこれだけの設定で固定 IP サービスに接続ができます。
接続方法およびコンピュータ名等、プロバイダの指定がある場合などは、以下の設定を行ってください。

●プロバイダからDNSサーバなどの指示がある場合の追加設定



ルーター(コンピュータ)名の設定	プロバイダからコンピュータ名が指定されている場合は、指定のコンピュータ名を入力します。
ドメイン名の設定	プロバイダからドメイン名が指定されている場合は、指定のドメイン名を入力します。
MAC アドレスの設定	変更の場合は[変更]をチェックし、希望の MAC アドレスを入力します。 ※通常は設定不要です。

4 すべて設定したら、
画面下の[設定]ボタンをクリックします。



参考

[設定]ボタンをクリックすると、設定した内容で本製品を設定後、本製品内部で再起動(リスタート)を行います。

5 以下の画面が表示されます。（画面上は[設定が完了しました。]と表示されていますが、この時点では、まだ本製品内部は再起動中の状態です。）
約20秒カウント後、自動で最初の設定画面に戻ります。

注意！

4 の手順で[設定]ボタンをクリック後、設定を保存するために本製品内部で再起動を行います。[設定]ボタンクリック後、上記画面が表示されても、まだ内部で再起動の状態が続いていますので、[設定]ボタンをクリックしてから、約20秒カウント後、最初の設定画面に戻るまでは、操作を行わないでください。

6 接続しているパソコンをすべて再起動してください。

以上で固定IPの設定は終了です。

設定画面を閉じる

前ページまでの設定がすべて終了したら、[ネットワーク]項目の画面を閉じます。

・Windows での画面の閉じ方

画面の右上の［×］ボタンをクリックして画面を閉じます。

・Mac OS での画面の閉じ方

画面の左上のボタンをクリックして画面を閉じます。

参考

Mac OS 上のInternet ExplorerやNetscape Communicatorを、完全終了させる場合は、メニューバーの[ファイル] – [終了]にて行います。

以上ですべての設定は終了です。
インターネットをご利用ください。

出荷時状態に戻す場合
（リセット）

NP-BBRxp を出荷時状態に戻したい場合は、以下の手順を行ってください。

注意！

以下の手順を行うと、以前の設定はすべてなくなります。

1 画面左の[設定メニュー]の[その他ツール]をクリックし、そのメニュー中の[設定情報の削除]をクリックします。

2 [設定情報の削除]欄の[削除の実行]ボタンをクリックします。

3 以下の画面が表示されます。（画面上は[設定が完了しました。]と表示されていますが、この時点では、まだ本製品内部は再起動中の状態です。）

約20秒カウント後、自動で最初の設定画面に戻ります。

注意！

2 の手順で[削除の実行]ボタンをクリック後、設定を保存するために本製品内部で再起動を行います。上記画面が表示されても、まだ内部で再起動の状態が続いていますので、[削除の実行]ボタンをクリックしてから、約20秒カウント後、最初の設定画面に戻るまでは、操作を行わないでください。

高度な設定について
（インターネット接続後の設定）

NP-BBRxpはインターネット共有だけでなく、次の高度な設定に対応しています。

可能な設定	主な概要
LAN側の設定	LAN側のIPアドレス、DHCPサーバの設定
管理者パスワード設定	ログイン時のパスワードの設定
セキュアホスト設定	インターネット側からの変更権限設定
バーチャルサーバ・DMZホストの設定	ネットワークゲームに有効な設定
パケットフィルタ設定	不正なアクセスを防止するための設定
メール着信お知らせ機能の設定	メールの着信アカウントの設定

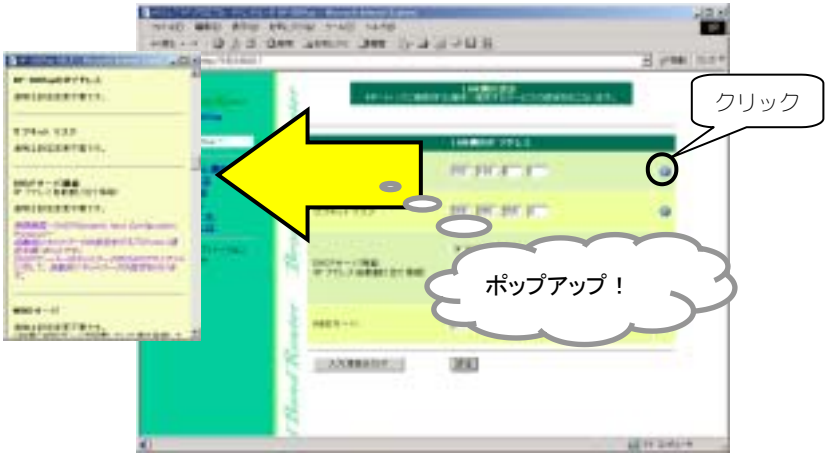
これらの高度な設定の設定方法をブラウザ画面よりオンラインで、
必要なヘルプ文書にアクセスすることが出来ます。

注意！

本書では、高度な設定の設定方法は割愛しております。ヘルプ文書をご覧ください。

オンラインヘルプ文書にアクセスする

1 設定画面の調べたい項目の?マークをクリックします。



2 ヘルプウィンドウがポップアップ表示されます。

付録 1

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

設定時のトラブル

状態	参照頁
設定画面が表示されない	75
CATV 局がユーザを[コンピュータ名]で管理している場合の設定方法がわからない	76
パソコンを IP アドレスなどの自動取得(DHCP クライアント)として設定しているのに、IP アドレスなどを取得できない	
PPPoE 接続で取得したグローバル IP アドレスを調べたい	77
LAN 側(Ether1～4 側)の IP アドレスを変更したら接続できなくなった	
管理者(admin)の[パスワード]、または、本製品に割り当てた IP アドレスを忘れた	78
設定画面で文字が入力できない	
本製品を DHCP サーバーに設定した環境で、Mac OS ユーザ側の[TCP/IP]画面で[DHCP サーバーを参照]に設定したにもかかわらず、[TCP/IP]に IP アドレスなどの情報が表示されない	
[TCP/IP]が表示されていない　(Windows Me/98/95 の場合)	79

ADSL および CATV 接続時のトラブル

状態	参照頁
ADSL モデム（ブリッジタイプ）を使ってインターネットに接続できない	81
CATV に接続できない	83
CATV 局がユーザを［コンピュータ名］で管理している場合で コンピュータ名を設定しても接続できない	84
ブラウザを起動すると、以下のエラーが表示される （Windows のみ） *「モデムが正しく応答していません。モデムが電話回線およびコンピュータに正しく接続されているかどうかを確認してください。」*	85

設定時のトラブル

設定画面が表示されない

原因１	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（Status ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN ポートの 1～4 に接続されているか再度確認してください。 （パソコンを接続しているポートのランプが点灯または点滅しているか） （15～20 ページ参照）

原因２	Web ブラウザが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	WEB ブラウザから本製品の設定を行う場合は、ブラウザの設定で プロキシサーバーを使わない設定にしてください。 ブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっていた場合、 本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 なおプロバイダからの指示がプロキシサーバーを使用する設定で案内されている場合は本製品の IP アドレスのみ、プロキシサーバーを使用しない設定にする必要があります。 （40～50 ページ参照）

原因３	ご使用のパソコンに IP アドレス、ゲートウェイアドレスが割り当てられていない
対処	21 ページ【ステップ４】を参照して、IP アドレスの設定を確認してください。

CATV 局がユーザを[コンピュータ名]で管理している場合の設定方法がわからない

対処	CATV 局からの[コンピュータ名]を、本製品の[ルータ名(コンピュータ名)]に設定してください。 ([インターネット側の設定]→[NP-BBRxp デバイス情報の設定]の[ルータ(コンピュータ名)]へ設定してください。)

パソコンを IP アドレスなどの自動取得(DHCP クライアント)として設定しているのに、IP アドレスなどを取得できない

原因1	接続に使用したケーブルが間違っている
対処	本製品とパソコン間はストレートケーブルで接続します。添付のケーブルをご使用ください。また、モデムと本製品間のケーブルはモデムに適合したケーブルをご使用ください。(6 ページ参照)

原因2	ネットワークの設定に問題がある。
対処	本体の LAN ポートの1～4 のランプが正しく点灯している場合は、以下の対応方法が考えられます。 ・DHCP でアドレスの解放と書き換えを行う。 ・LAN アダプタのドライバを最新のものへ更新する。 (ドライバの更新、通信方式の変更方法につきましては LAN アダプタのメーカーへお問い合わせください。) ・パソコンとの間にスイッチング HUB が入っている場合は、スイッチングハブを初期化する。 (スイッチング HUB の初期化方法についてはスイッチングハブのメーカーへお問い合わせください。) これらの方法でも DHCP クライアントとして IP アドレスなどを取得することができない場合は、お手数ですが、固定(手入力)でネットワークの設定を行ってください。なお、固定でネットワークの設定を行う場合は、ネットワークアドレスを合わせる必要があります。 デフォルト値(工場出荷値)で運用する場合は、TCP/IP 設定に以下の値を使用します。 IP アドレス:　192.168.0.2～192.168.0.254 から他の機器と重複しない任意の IP アドレス サブネット マスク:　255.255.255.0 デフォルト ゲートウェイ(ルータアドレス):　192.168.0.1

PPPoE 接続で取得したグローバル IP アドレスを調べたい

対処	Web ブラウザの設定画面から[ステータス]→[インターネット接続状況]を開いてください。 PPPoE(IPCP)で取得したグローバル IP アドレス（自 IP アドレス）、プロバイダ側でゲートとなっているマシンのグローバル IP アドレス（接続先 IP アドレス）、DNS サーバーアドレス（プライマリ DNS/セカンダリ DNS）を確認する事ができます。

LAN 側（LAN1～4 側）の IP アドレスを変更したら接続できなくなった

対処	***・パソコンに固定で IP アドレスを設定している場合*** 1.パソコンの IP アドレスには、新しく設定した（変更した）ルータの LAN 側 IP アドレスと同じネットワークのクラスの IP アドレスを設定してください。 2.パソコンのゲートウェイ（ルータアドレス）と DNS アドレスには、新しく設定した（変更した）ルータの LAN 側 IP アドレスを設定してください。 ***・パソコンに IP アドレスを自動的に取得させている場合*** 1. Web ブラウザの設定画面から[LAN 側の設定]→[LAN 側の IP アドレス]の[DHCP サーバ機能]に、新しく設定した（変更したルータの LAN 側 IP アドレスと同じネットワークの IP アドレスを設定してください。 2.パソコンの再起動、または、パソコンが自動的に取得しているアドレスの解放と書き換えを行ってください。

管理者（admin）の［パスワード］、または、本製品に割り当てた IP アドレスを忘れた

対処	弊社 PLANT コールセンターまでご相談ください。（109 ページ参照）

設定画面で文字が入力できない

原因１	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因２	入力できない文字を入力しようとしている
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。

本製品を DHCP サーバに設定した環境で、Mac OS ユーザ側の［TCP/IP］画面で［DHCP サーバを参照］に設定したにもかかわらず、［TCP/IP］に IP アドレスなどの情報が表示されない

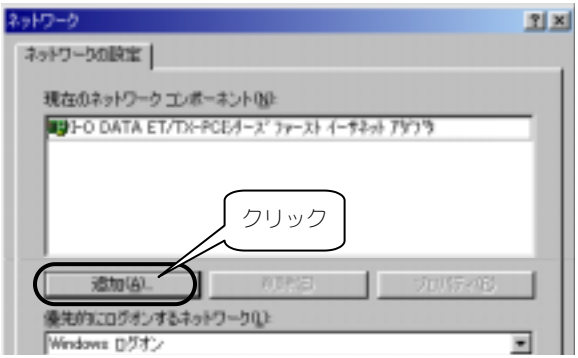
原因	Mac OS の仕様です。
対処	一度、ネットワーク上から本製品を参照し、再度 TCP/IP 画面を開いていただくと IP アドレスなどの情報が表示されます。

[TCP/IP]が表示されていない　（Windows Me/98/95 の場合）

原因	TCP/IP プロトコルがインストールされていない。
対処	下記の手順で TCP/IP をインストールします。

1 「ネットワーク」を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、
[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

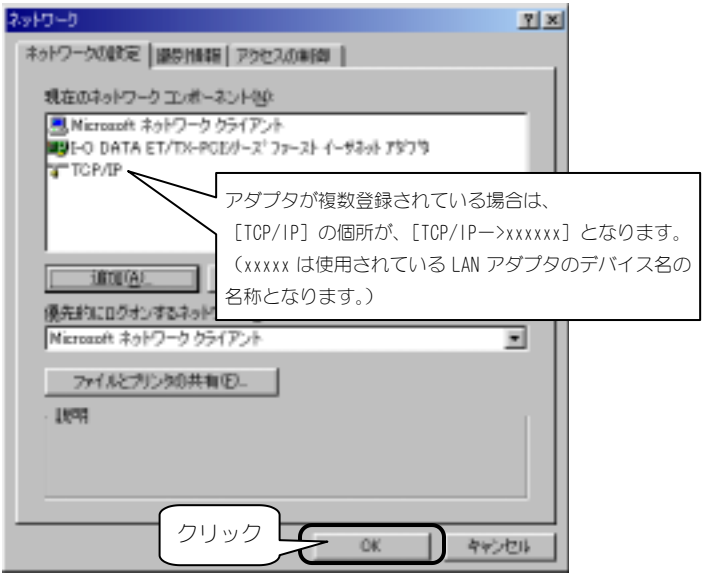
2 [追加]ボタンをクリックします。
※以下の画面は、弊社製ET/TX-PCIシリーズを例にしています。



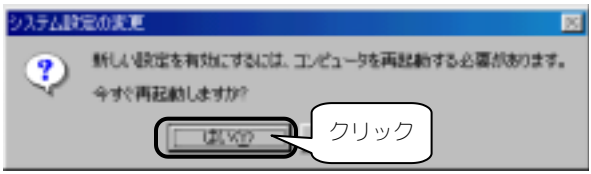
3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。



6 ［はい］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



ADSL および CATV 接続時のトラブル

ADSL モデム(ブリッジタイプ)を使ってインターネットに接続できない

原因	Web ブラウザの設定画面から[ステータス]→[インターネット接続状況]を開いてください。[NP-BBRxp ステータス情報]→[PPPoE 接続設定情報]が[Disable]になってる。
対処	PPPoE 接続の設定を行ってください。 (60 ページの ***1*** の手順参照)

注意！

上記の設定を正しく行っているにも関わらず接続できない場合は、
Web ブラウザの設定画面から[ステータス]→[インターネット接続状況]を開いてください。
[PPPoE 接続時間]欄が、[時 : 分 : 秒]か[(Not connected)]か、
によって対処方法が異なります。

●[PPPoE 接続時間]欄が、[時 : 分 : 秒]の場合
→ 次ページ ① を参照してください。

●[PPPoE 接続時間]欄が、[(Not connected)]の場合
→ 次ページ ② を参照してください。

①　*[PPPoE 接続時間]欄が、[時 : 分 : 秒]の場合*

原因	パソコン側の TCP/IP 設定に誤りがある
対処	パソコン側の TCP/IP 設定をご確認ください。 IP アドレスを自動的に取得している場合は、IP アドレスの解放と書き換えを行ってください。 IP アドレスを固定で設定している場合は、パソコンに設定した IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS サーバのアドレスを確認してください。

②　*[PPPoE 接続時間]欄が、[(Not connected)]の場合*

原因1	PPPoE の認証に失敗している。
対処	Web ブラウザの設定画面から[インターネット側の設定]を開いて「ユーザーID」と「ユーザーパスワード」を再度入力してください。（61 ページ参照）

原因2	ADSL モデム（ブリッジタイプ）を使用するが、PPPoE 認証を使用しないサービス会社である。
対処	PPPoE 認証を行わないサービス会社の場合はブリッジタイプの ADSL モデムであっても PPPoE の設定を行う必要がありません。 DHCP を使用しますので、Web ブラウザの設定画面から[インターネット側の設定]を開いてください。[インターネット共有　設定モードの選択]→[CATV インターネット設定モード　- DHCP による IP 自動設定　接続時に使用します。]で設定をおこなってください。（56 ページ参照）

原因3	使用している ADSL モデムがルータタイプのモデムである。
対処	ルータタイプの ADSL モデムと接続する場合には、PPPoE の設定は不要です。 NAT を使用する場合には Web ブラウザの設定画面から[インターネット側の設定]を開いてください。[インターネット共有　設定モードの選択]→[CATV インターネット設定モード　- DHCP による IP 自動設定　接続時に使用します。]を選択し設定をおこないます。（56 ページ参照）

CATV に接続できない

原因１	インターネット側のポートに IP アドレスが設定されていない。
対処	IP アドレスが固定割り当ての場合は、あらかじめ本製品のインターネット側のポートに CATV 局から割り当てられた IP アドレスを設定する必要があります。 プロバイダから割り当てられた IP アドレスを指定してください。 【IP 手動設定で使用する場合の設定】(66 ページ)を参照

原因２	CATV 局から IP アドレスを取得できていない。
対処	CATV 局によっては、MAC アドレスを登録したネットワーク機器のみでしか CATV に接続できなくしている場合があります。 MAC アドレスは、LAN ボード/カードや本製品などにそれぞれ別々の値が設定されていますが、CATV 局側が、本製品導入以前に接続していたパソコンの LAN ボード/カードの MAC アドレスを登録したままにしていると、本製品を導入しても CATV 局側が本製品の MAC アドレスを認識しません。CATV 局へ登録した MAC アドレスを本製品に登録することで回避することができます。 Web ブラウザの設定画面から[インターネット側の設定]を開いて、[NP-BBRxp デバイス情報の設定]→[MAC アドレス]に登録してください。

原因３	ケーブルモデムのメモリ内に以前接続していたパソコンの情報が記憶されている。
対処	ケーブルモデムのメモリ内に以前接続していたパソコンの情報が記憶されているためにケーブルモデムが本製品を認識できないという場合があります。 ケーブルモデムの初期化を行った後、再度接続してみてください。 (初期化の方法についてはケーブルモデムの取扱説明書などをご覧ください)

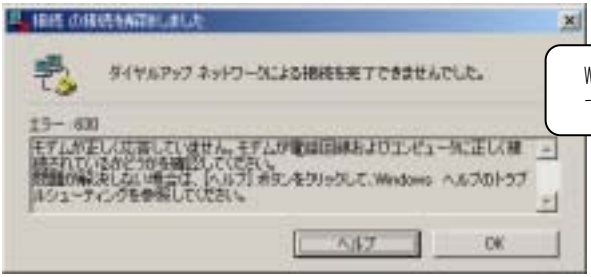
CATV 局がユーザを[コンピュータ名]で管理している場合でコンピュータ名を設定しても接続できない

原因	本製品へルータ名（コンピュータ名）以外にドメイン名の設定が必要な場合があります。
対処	コンピュータ名を設定しても接続できない場合は、設定画面で[ルータ名（コンピュータ名）]と[ドメイン名]の両方を設定してください。 （Web ブラウザの設定画面から[インターネット側の設定]を開いてください。[インターネット共有　設定モードの選択]→[CATV インターネット設定モード　－ DHCP による IP 自動設定　接続時に使用します。]の[ルータ（コンピュータ名）]、[ドメイン名]に設定してください。） 使用するドメイン名がわからない場合には、proxy サーバー、mail サーバーなどへ、ping コマンドを実行してください。 Windows では、MS-DOS コマンドプロンプトで ping コマンドを実行する事ができます。 例として、proxy というコンピュータ名が付けられている proxy サーバーへ ping コマンドを実行した場合を説明します。 C:¥WINDOWS>ping proxy Pinging xxx.jp [xxx.xxx.xxx.xxx] with 32 bytes of data: Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: bytes=32 time=10ms TTL=255 Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: bytes=32 time<10ms TTL=255 : : 一般的に、返されてきたコンピュータ名[host.xxx.jp]から、 最初のドット（ピリオド）までをのぞいたもの[xxx.jp]がドメイン名となります。

ブラウザを起動すると、以下のエラーが表示される

（Windows のみ）

「モデムが正しく応答していません。モデムが電話回線およびコンピュータに正しく接続されているかどうかを確認してください。」（以下の画面）



Windows Me での表示例

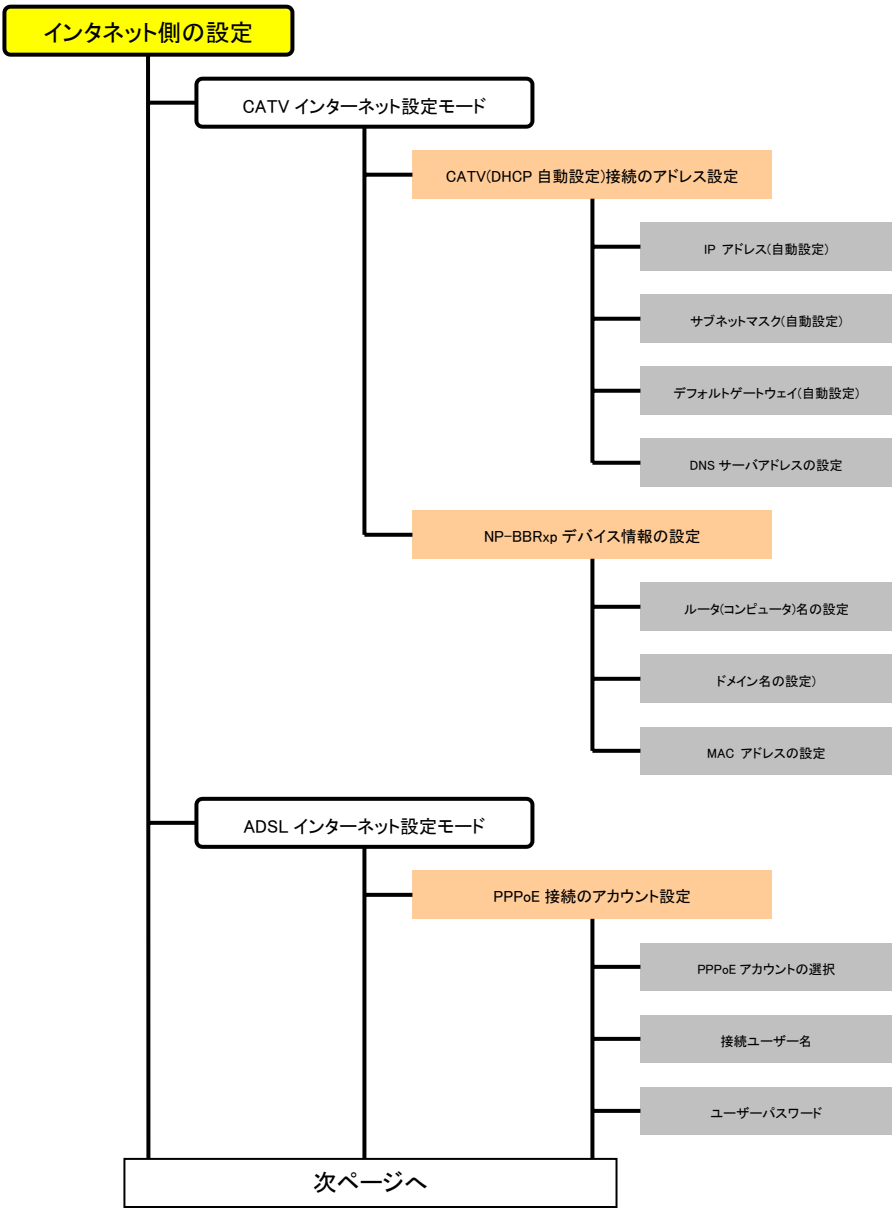
原因	ダイヤルアップネットワークでダイヤルアップする設定となっている。
対処	【ステップ6】(40 ページ)を参照して、Web ブラウザの設定を行ってください。

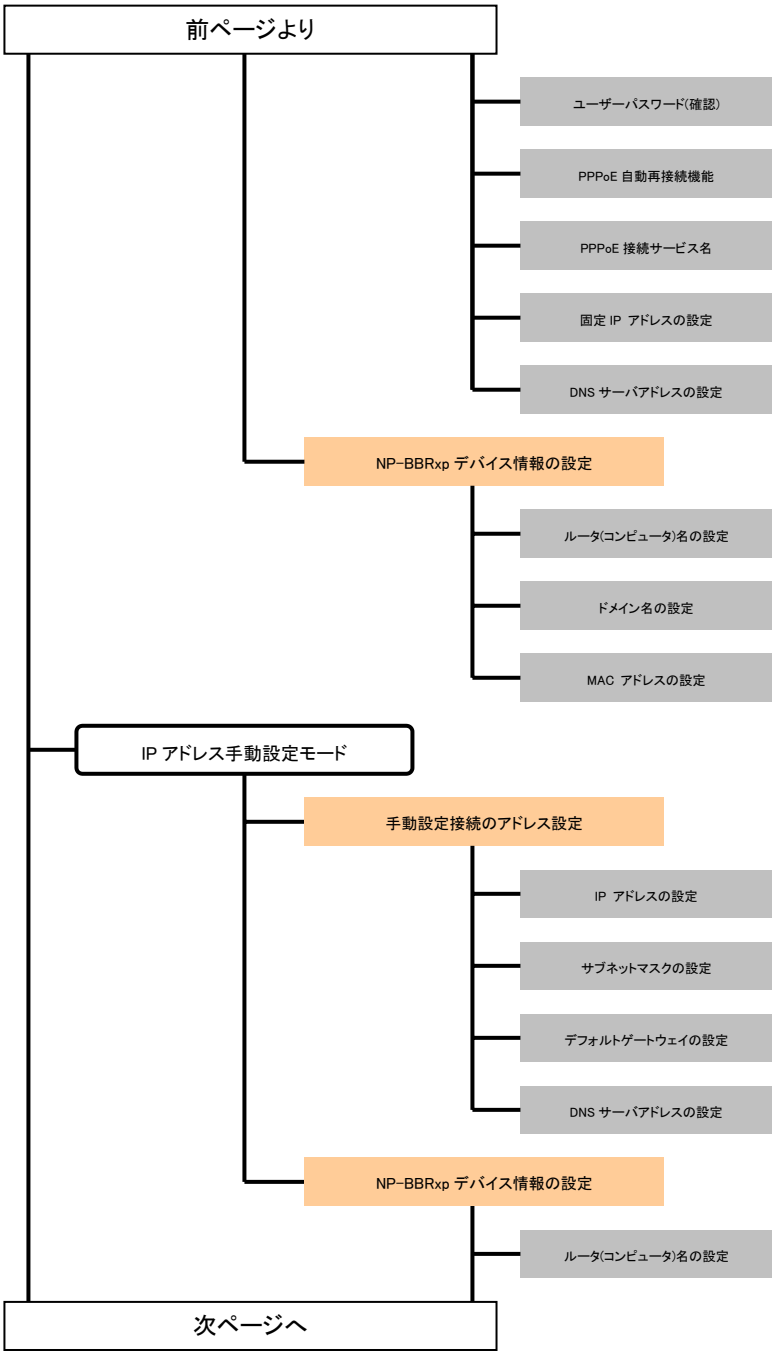
付録２

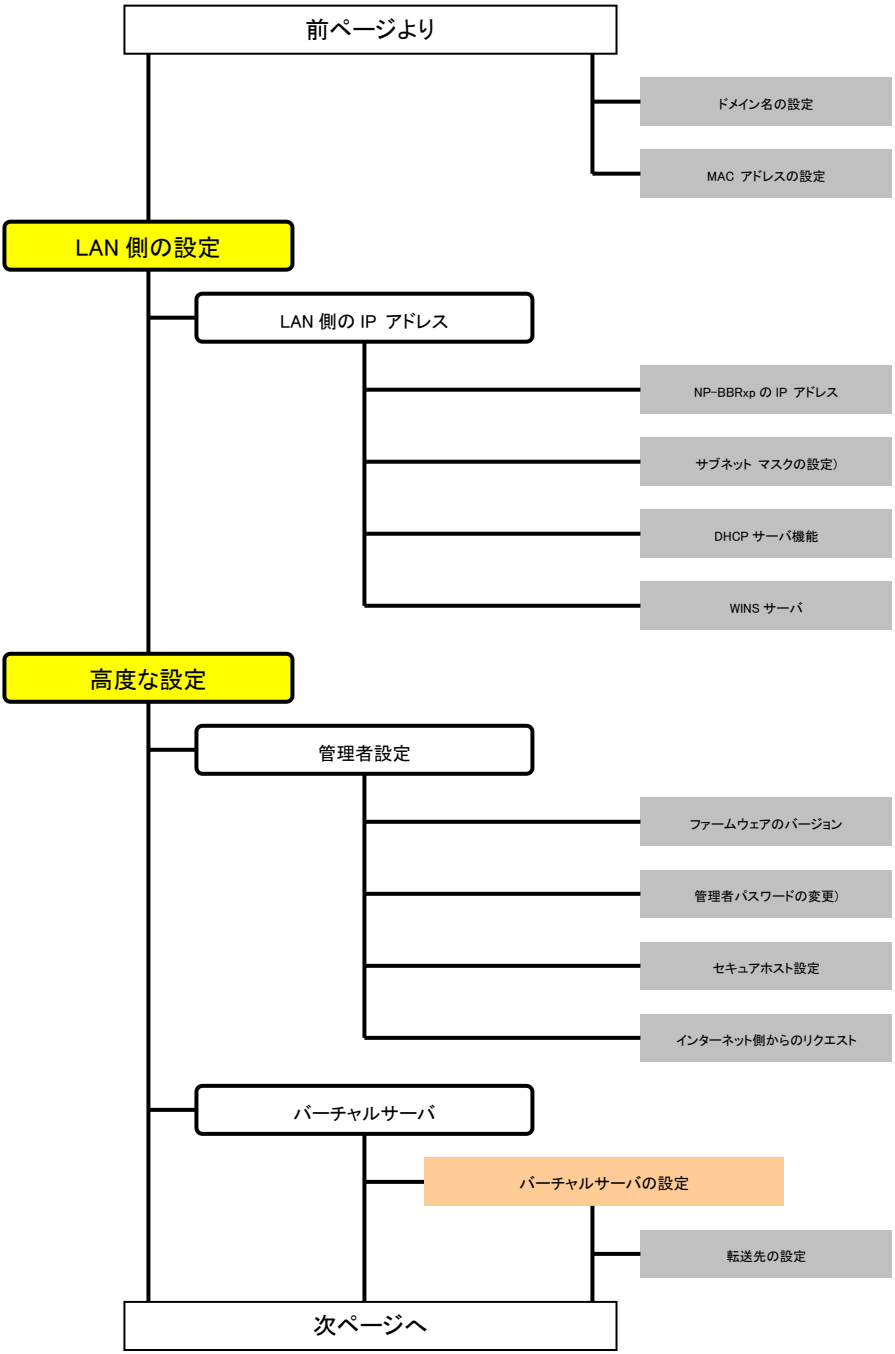
設定画面体系図

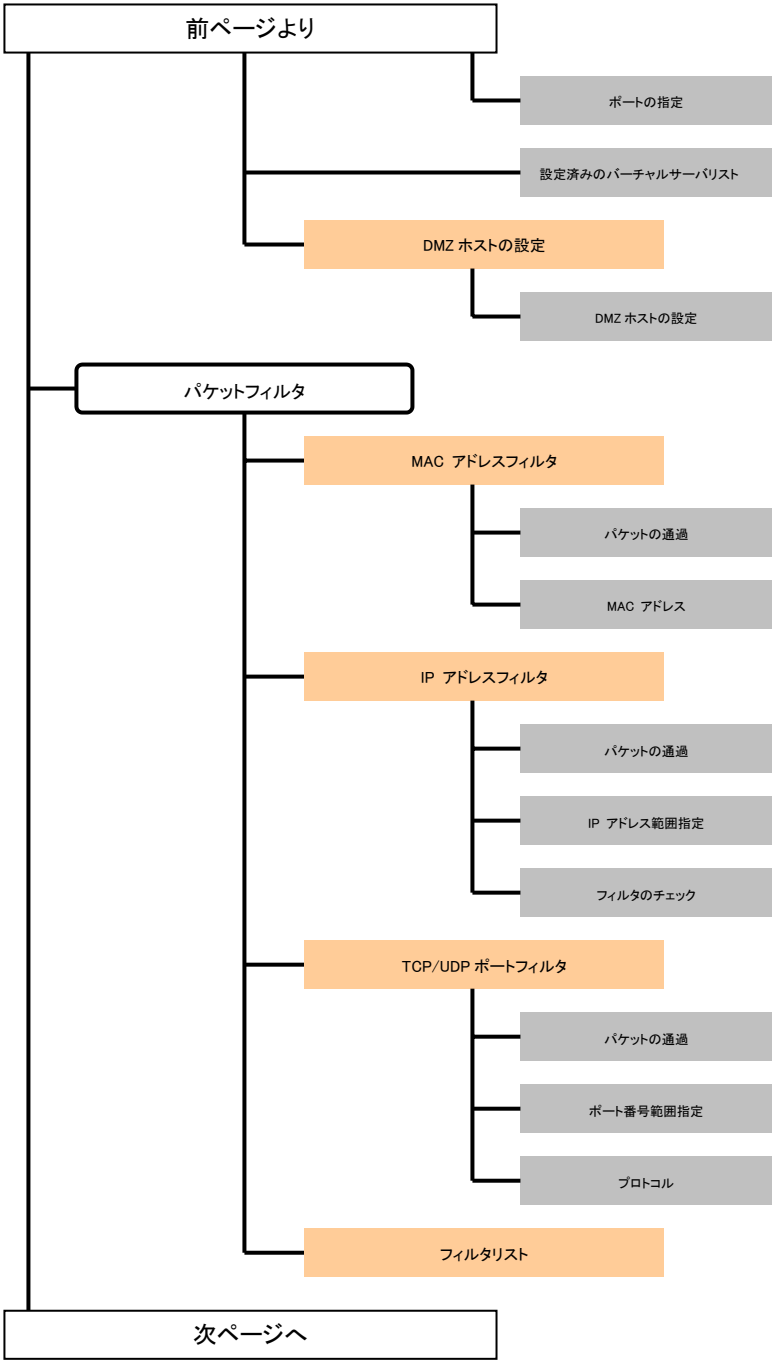
設定項目の体系一覧を説明します。

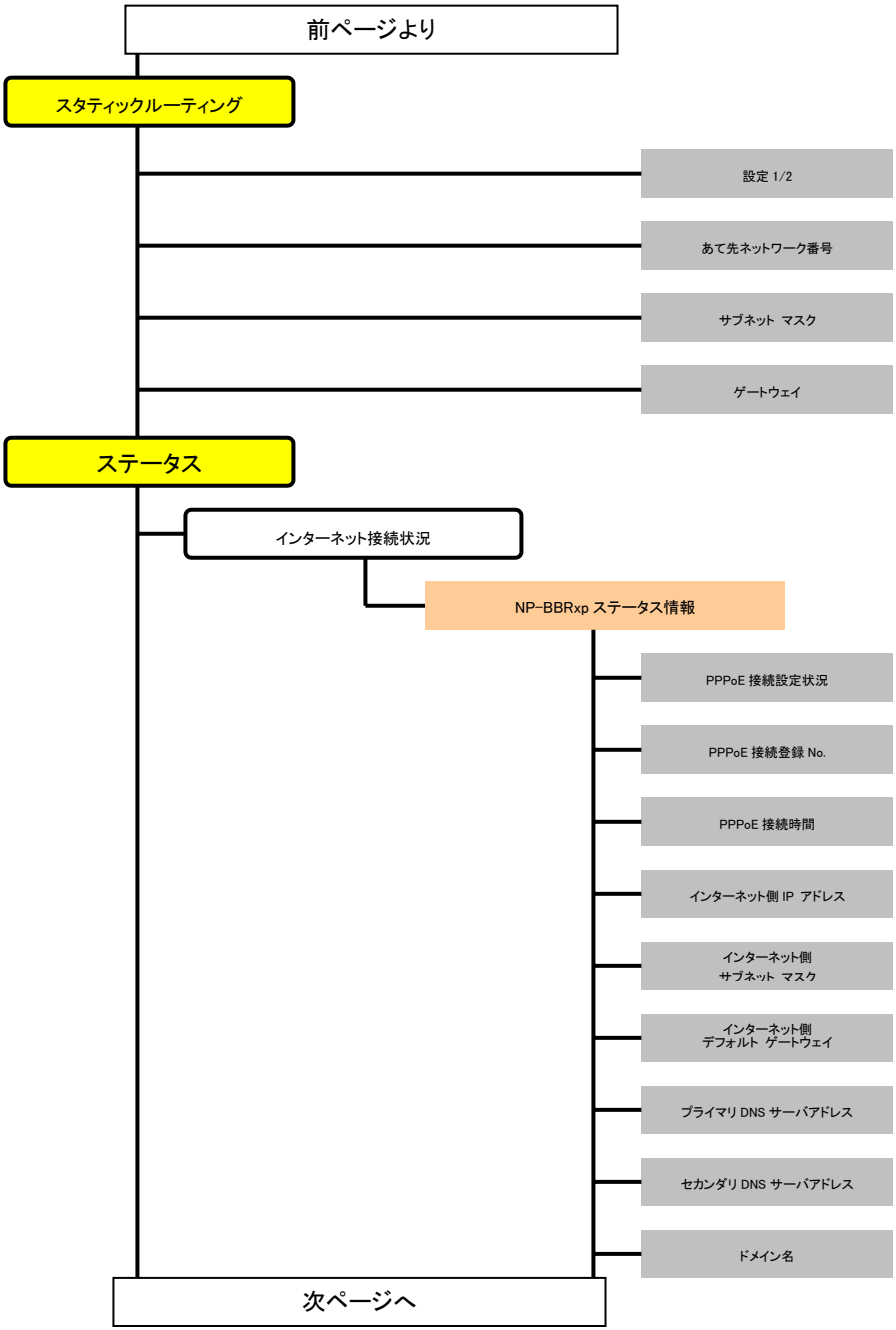
設定画面体系図

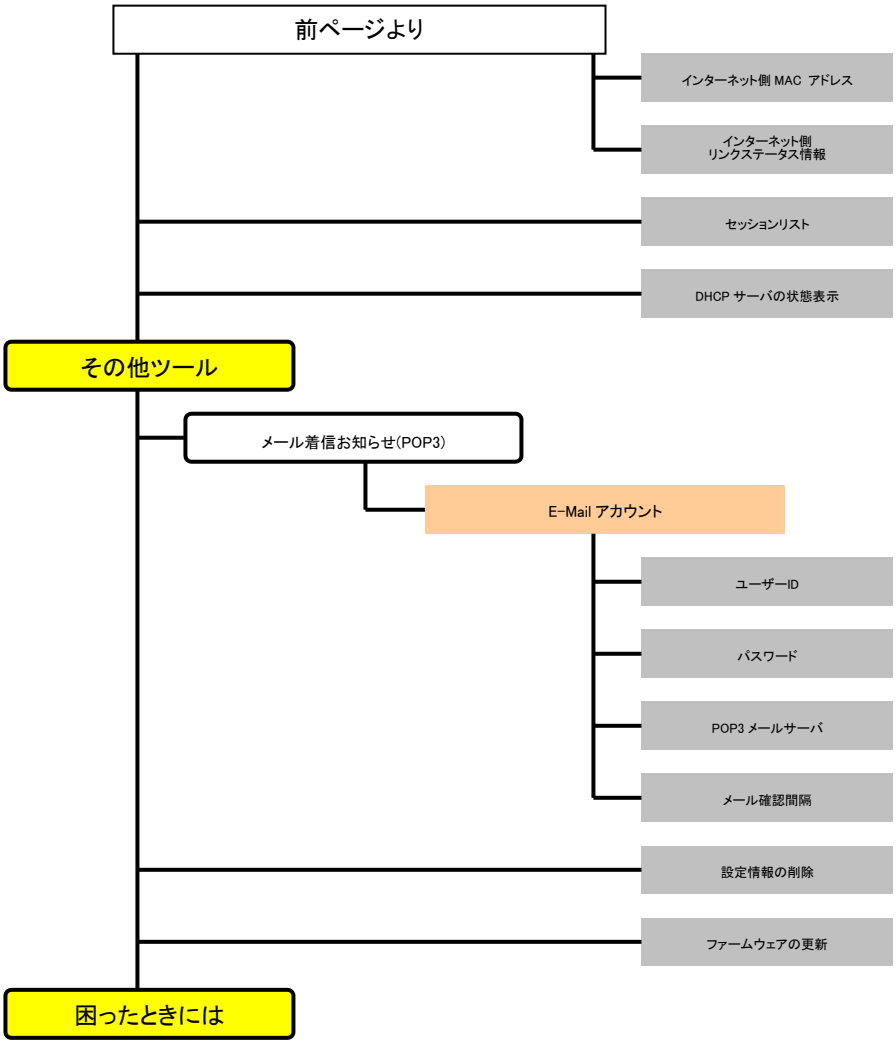

インタネット側の設定
CATV インターネット設定モード
CATV(DHCP 自動設定)接続のアドレス設定
IP アドレス(自動設定)
サブネットマスク(自動設定)
デフォルトゲートウェイ(自動設定)
DNS サーバアドレスの設定
NP-BBRxp デバイス情報の設定
ルータ(コンピュータ)名の設定
ドメイン名の設定)
MAC アドレスの設定
ADSL インターネット設定モード
PPPoE 接続のアカウント設定
PPPoE アカウントの選択
接続ユーザー名
ユーザーパスワード
次ページへ


前ページより
ユーザーパスワード(確認)
PPPoE 自動再接続機能
PPPoE 接続サービス名
固定 IP アドレスの設定
DNS サーバアドレスの設定
NP-BBRxp デバイス情報の設定
ルータ(コンピュータ)名の設定
ドメイン名の設定
MAC アドレスの設定
IP アドレス手動設定モード
手動設定接続のアドレス設定
IP アドレスの設定
サブネットマスクの設定
デフォルトゲートウェイの設定
DNS サーバアドレスの設定
NP-BBRxp デバイス情報の設定
ルータ(コンピュータ)名の設定
次ページへ


前ページより
ドメイン名の設定
MAC アドレスの設定
LAN 側の設定
LAN 側の IP アドレス
NP-BBRxp の IP アドレス
サブネット マスクの設定）
DHCP サーバ機能
WINS サーバ
高度な設定
管理者設定
ファームウェアのバージョン
管理者パスワードの変更）
セキュアホスト設定
インターネット側からのリクエスト
バーチャルサーバ
バーチャルサーバの設定
転送先の設定
次ページへ


前ページより
ポートの指定
設定済みのバーチャルサーバリスト
DMZ ホストの設定
DMZ ホストの設定
パケットフィルタ
MAC アドレスフィルタ
パケットの通過
MAC アドレス
IP アドレスフィルタ
パケットの通過
IP アドレス範囲指定
フィルタのチェック
TCP/UDP ポートフィルタ
パケットの通過
ポート番号範囲指定
プロトコル
フィルタリスト
次ページへ


前ページより
スタティックルーティング
設定 1/2
あて先ネットワーク番号
サブネット マスク
ゲートウェイ
ステータス
インターネット接続状況
NP-BBRxp ステータス情報
PPPoE 接続設定状況
PPPoE 接続登録 No.
PPPoE 接続時間
インターネット側 IP アドレス
インターネット側
サブネット マスク
インターネット側
デフォルト ゲートウェイ
プライマリ DNS サーバアドレス
セカンダリ DNS サーバアドレス
ドメイン名
次ページへ


前ページより
インターネット側 MAC アドレス
インターネット側
リンクステータス情報
セッションリスト
DHCP サーバの状態表示
その他ツール
メール着信お知らせ(POP3)
E-Mail アカウント
ユーザーID
パスワード
POP3 メールサーバ
メール確認間隔
設定情報の削除
ファームウェアの更新
困ったときには

付録3

TCP/IP の基礎知識

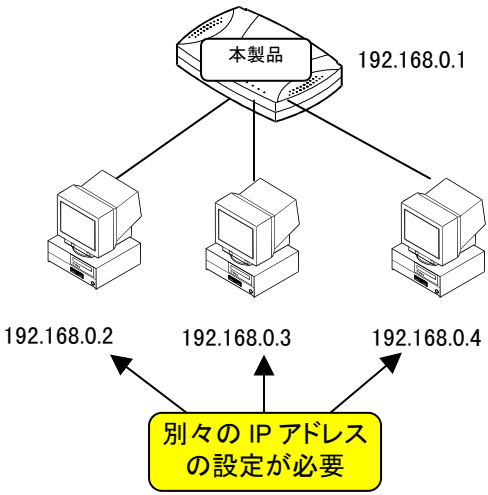
ここでは、本製品を使用する上で必要となるTCP/IPプロトコルのIPアドレスの基礎知識について説明します。必要に応じてお読みください。

・IP アドレス …… 94
同じネットワーク上では別々の IP アドレスが必要 …… 94
インターネットの IP アドレスと LAN の IP アドレス …… 95
LAN 内で使用する IP アドレスのクラス …… 96
・DHCP …… 97
・具体的な IP アドレスの設定例 …… 98
本製品を DHCP サーバーとして使用する場合の例 …… 98
IP アドレスをすべて手動で設定する場合の例 …… 99

IP アドレス

同じネットワーク上では別々の IP アドレスが必要

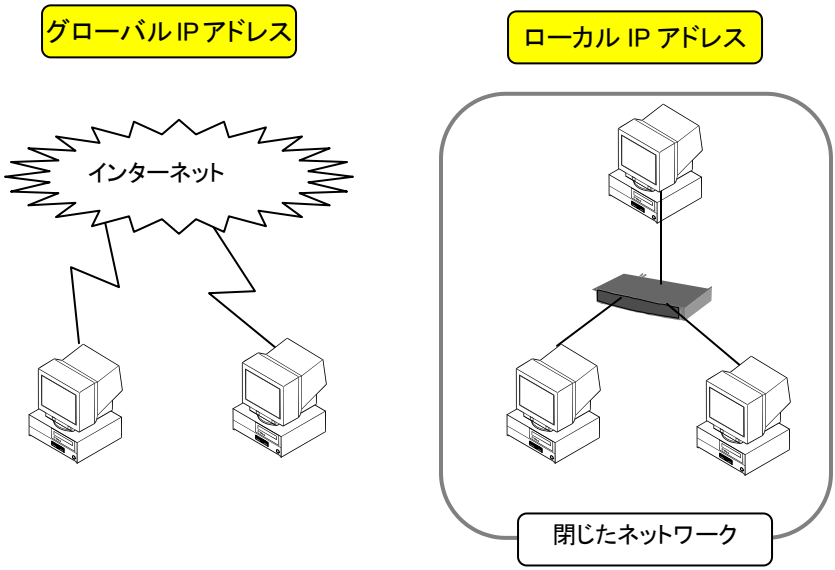
本製品を使用するには、本製品やパソコンにIPアドレスの設定が必要です。
また、設定するIPアドレスは、本製品および本製品に接続したパソコンのすべてに別々のIPアドレスが必要です。
IPアドレスとは、データを送受信するためのパソコン同士で理解できる住所のようなものです。
町の１軒１軒の家が別々の住所を持つように、パソコンも１台１台が別々のIPアドレスを設定する必要があります。もし、同じIPアドレスを持つパソコンがあるとどちらにデータを送ればいいのかわからなくなるためです。
例えば、本製品は出荷時「192. 168. 0. 1」のIPアドレスを持ちますが、ネットワーク上に、同じIPアドレスを設定したパソコンがあると、他のパソコンから本製品やその同じIPアドレスのパソコンにアクセスできなくなります。



インターネットの IP アドレスと LAN の IP アドレス

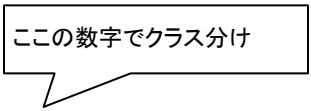
IPアドレスには、「グローバルIPアドレス」と「ローカルIPアドレス」（プライベートIPアドレス）があります。
「グローバルIPアドレス」は、インターネットで使用するIPアドレスです。
「ローカルIPアドレス」は、通常LAN内で使用するIPアドレスです。

グローバル IP アドレス	ネットワーク上で別々の IP アドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々の IP アドレスを使用する必要があります。この IP アドレスがグローバル IP アドレスです。 通常、プロバイダより割り当てられます。
ローカル IP アドレス	インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみなど）では、ネットワーク内で別々の自由な IP アドレスを使用することができます。 この IP アドレスがローカル IP アドレスです。



LAN 内で使用する IP アドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、３つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば［クラスAのIPアドレス］、中規模なら［クラスBのIPアドレス］、小規模の場合は［クラスCのIPアドレス］となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。
実際には、本製品の出荷時のIPアドレス「192. 168. 0. 2」のように、IPアドレスは、ピリオドで区切られた４つの数字の羅列で構成されていて、４つの数字の最初の数字の値で、クラスが分けられます。



例　本製品の出荷時の IP アドレス「192. 168. 0. 2」の場合は「192」

クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの最初の数字※	クラス	用途（ネットワークを構成するパソコンの台数）
１～１２７	クラスA	大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台）
１２８～１９１	クラスB	中規模ネットワーク用（最大約 65000 台）
１９２～２２３	クラスC	小規模ネットワーク用（最大約 120 台）

※「224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

例えば、数台～数十台で構成されるネットワークでは、クラスCのIPアドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスA	10. 0. 0. 0　～　10. 255. 255. 255
クラスB	172. 16. 0. 0　～　172. 31. 255. 255
クラスC	192. 168. 0. 0　～　192. 168. 255. 255

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）とは、IP アドレスの自動割り当て機能のことです。
DHCP は、DHCP サーバーと DHCP クライアントで構成され、DHCP サーバーが DHCP クライアントに使用可能な IP アドレスを割り当てます。
例えば、本製品を DHCP サーバーとし、複数台のすべてのパソコンを DHCP クライアントに設定した場合、各パソコンは、パソコン起動時に使用可能な IP アドレスを入手し、終了時に開放します。

●DHCP の特徴

・個々のパソコンに IP アドレスをセットする手間が省けます。
・設定できる IP アドレスが変更された場合、DHCP サーバーのみの変更で済みます。
　そのため、クライアント側で IP アドレスを考慮する必要がなくなります。
　DHCP クライアント側では、DNS やゲートウェイ（ルータ）の IP アドレスも自動で設定されます。
・DHCP クライアント側の IP アドレスは、起動時毎に毎回異なる場合があります。

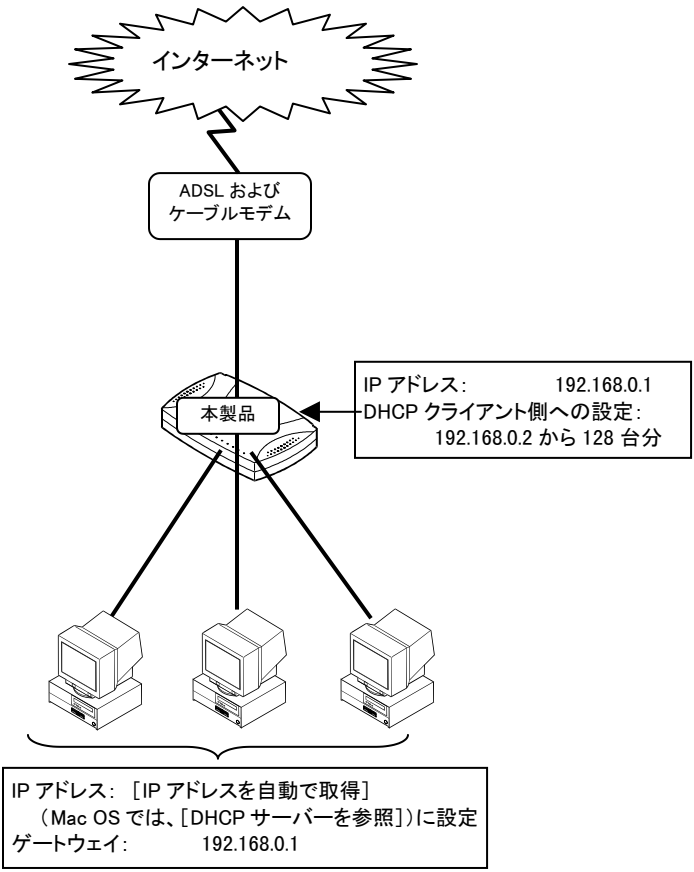
注意！

本製品を DHCP サーバーとした場合は、必ず本製品が正常に起動した後に、パソコンを起動してください。パソコンを先に起動すると IP アドレスが正常に割り当てられなくなる場合があります。

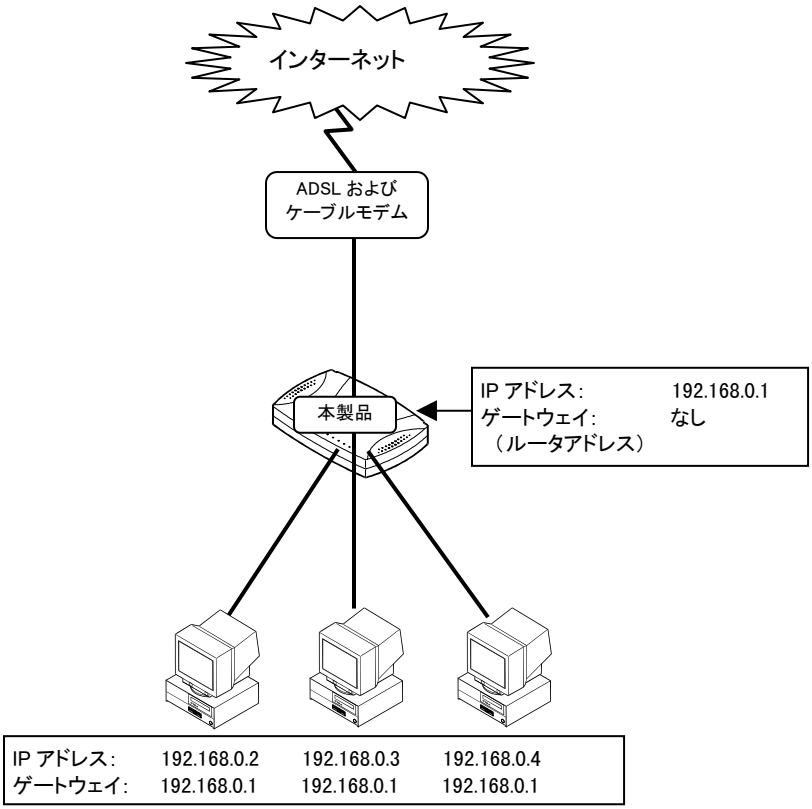
具体的な IP アドレスの設定例

ここでは、小規模ネットワークでの、本製品を使用した場合の IP アドレスの具体的な設定例について説明します。

本製品を DHCP サーバーとして使用する場合の例



IP アドレスをすべて手動で設定する場合の例



付録4

用語解説

ここでは、本製品の関連する用語について説明します。

10BASE-T

ツイストペアケーブル（10BASE-T ケーブル）を使用した Ethernet の通信方式の一つで、最大伝送速度は 10Mbps です。

100BASE-TX

ツイストペアケーブル（100BASE-TX ケーブル）を使用した Ethernet の通信方式の一つで、最大伝送速度は 100Mbps です。

ADSL （*Asymmetric Digital Subscriber Line*）

従来の電話回線（メタルケーブル）を利用し、専用のモデムで高速なデータ伝送を可能にしたデジタル技術の1つです。

CATV （*CAble TV*）

同軸ケーブルによって接続した限定地域に対して、多様なサービスを提供する TV 放送システムです。

DHCP （*Dynamic Host Configuration Protocol*）

自動的にネットワークの設定を行うプロトコル（通信手順）のことです。
DHCP サーバーはネットワークの DHCP クライアントに対して、自動的にネットワークの設定を行います。

DMZ　*（DeMilitarized Zone）*

ネットワークゲーム・ストリーミング・チャット等のネットワークアプリケーションが利用できない場合登録します。インターネット側からきたあて先不明なパケットをすべて DMZ ホストに登録したパソコンに配信されます。

DNS　*（Domain Name System）*

TCP/IP ネットワークで使われ、コンピュータについた名前と実際の IP アドレスを関連付けるシステムです。

DNS サーバー

ネットワークのグループについた名前を問い合わせると、その IP アドレスを教えてくれるサーバーのことです。DNS サーバーを使用することにより、WWW ブラウザ等のアドレス入力欄でアドレスを文字で入力することができます。
（IP アドレスの数値を直接入力する必要が無くなります）

Ethernet

Xerox 社、DEC 社、Intel 社の 3 社が仕様を開発した LAN の通信方式で、10BASE-T、10BASE5 等があります。

IP アドレス

TCP/IP プロトコル（インターネットで使用されている規約）を使用して構築されるネットワークで、接続されている全ての機器を区別するために付けられるアドレス（番地）のことです。

IP マスカレード

プロバイダから提供された一つのグローバル IP アドレスを複数のプライベート IP アドレスへ変換し、同時に複数台のコンピュータでインターネットに接続できるようにする機能です。NAT とは異なり、同時にインターネットへ接続できるコンピュータの台数は、プロバイダから提供されたグローバル IP アドレスの数には依存しません。
ただし、IP マスカレードでは正しく動作しないアプリケーションもありますので、その場合は NAT を使用します。

ISP （*Internet Service Provider*）

インターネット・サービス・プロバイダの略称です。（単にプロバイダと呼ばれることが多い）
企業や個人に対しインターネットへ接続する通信サービスを提供する回線業者のことです。

LAN （*Local Area Network*）

ローカル・エリア・ネットワークの略称です。小規模なコンピュータネットワークのことです。
LAN に対して WAN(Wide Area Network)があり、WAN は LAN 同士を結ぶ大規模なネットワーク（インターネット等）のことです。

NAT （*Network Address Translator*）

LAN で使用しているプライベート IP アドレスをインターネットで使用できるグローバル IP アドレスへ変換することにより、プライベート IP アドレスしか持たない LAN のコンピュータからインターネットへ接続できるようにする機能です。
NAT の場合、プライベート IP アドレスとグローバル IP アドレスは 1 対 1 で対応していなければなりません。同時にインターネットへ接続できるコンピュータの台数は、ISP や RAS サーバーから提供されたグローバル IP アドレスの数に依存します。

POP （*Post Office Protocol*）

電子メールをスプールしているシステムから、TCP/IP プロトコルを使ってメールスプールの内容を読み出すためのプロトコルです。
プロトコル仕様は RFC1939 で定義されています。
POP3 サーバとは受信メールサーバのことを指します。

PPPoE （*PPP over Ethernet*）

ネットワーク（Ethernet）上で、ダイヤルアップ接続（PPP 接続）のような利用者のユーザー名、パスワードのチェックを行うために作り出された規格です。

SMTP （*Simple Mail Transfer Protocol*）

電子メールを送信するためのプロトコルです。
プロトコル仕様は RFC821 などで定義されています。
SMTP サーバとは送信メールサーバのことを指します。

TCP/IP （*Transmission Control Protocol ／ Internet Protocol*）

通信プロトコルの１つ。
最も普及しているプロトコルで、インターネット上の通信にも使われています。

Telnet

遠隔地からほかのコンピュータにログインして、遠隔操作を行なう仮想端末プロトコルです。
プロトコル仕様は RFC854 で定義されています。
テキストベースの通信を行ない、コマンドを送信する際にはエスケープコードを利用する。一般的には TCP/IP のポート番号 23 番を使用します。

WAN （*Wide Area Network*）

通常は LAN に対比して使用される言葉で、遠隔地にあるコンピュータ同士（LAN 同士）を公衆回線網を使って接続したネットワークのことです。

xDSL （*x Digital Subscriber Line*）

ADSL や SDSL、HDSL、VDSL などを総称して呼ぶ言葉です。

クライアント

ネットワーク内で、サービスを受ける側のことです。

グローバル IP アドレス

インターネットを使うことを許された IP アドレスです。

ゲートウェイ

通信手順の異なるネットワーク同士を接続するための機器やシステムです。
ゲートウェイに該当する機器の IP アドレス（ゲートウェイアドレス）をゲートウェイと呼ぶこともあります。

サーバー

ネットワーク内で、他のパソコン（クライアント）からの要求を受け、サービスを提供する側のコンピュータのことです。

サブネットマスク

LAN で使用可能なアドレスの範囲を決めるために、IP アドレスと組み合わせる値です。

スタティックルーティング

ルーティングするための情報をあらかじめルーターに設定しておき、常に決まったルートを通って目的のノード（ネットワークに接続されているコンピュータ等）へパケット（ネットワーク内を流れるデータ）を送る方法です。静的ルーティングとも呼びます。

セッション

TCP/IP プロトコルによるデータ処理の単位です。

ダイヤルアップ IP

インターネットへ接続する際に、モデムや TA 等で ISP へ電話をかけて接続する方法です。

パケット

ネットワーク内を流れるデータです。

パケットフィルタ

ルータの機能を強化して、個々のパケットの単位で通過させたり、禁止したりできるようにしたものです。

ハブ

10BASE-T ケーブル（RJ-45 規格）を複数本集めて、通信を行うための LAN 機器（集配線装置）です。

ファイヤウォール

組織内外からの通信すべてに対して、通過させたり、禁止したりすることによって、必要なサービスだけをユーザーに提供しつつ、セキュリティを確保します。
名前の由来は「防火壁（firewall）」に因んでいます。

ファームウェア

本製品内部で動作し、本製品のコントロールを行うプログラムです。

プライベート IP アドレス

組織内部のネットワークアドレスとして、自由に利用できる IP アドレス。
以下のものが利用できるとされています。

ClassA ： 10.0.0.0～10.255.255.255
ClassB ： 172.16.0.0～172.31.255.255
ClassC ： 192.168.0.0～192.168.255.255

ブリッジ

LAN のセグメント間を相互接続する機器で、OSI 参照モデルのデータリンク層で動作します。
パケットの衝突(コリジョン)が増え、パフォーマンスが低下するという事態を回避するためコリジョンドメインを制限して、ネットワークを効率化するために作られたネットワーク機器です。

リンク

各機器間を接続することです。

ルータ

複数の LAN 等、ネットワークを相互に接続するための機器です。
異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目を持っています。
ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワーク宛であれば、ルータはそのデータを外部に送り出します。
ルータはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送り出しています。
必要によっては通過させるデータやプロトコルの種類を制限することも可能です。

ルーティング

ネットワークのパケットを、正しく目的ノード（ネットワークに接続されている機器）へ届くように制御することです。

付録5

仕　様

インターフェイス	LAN側：　10BASE-T/100BASE(RJ-45)　×　4ポート (スイッチングハブ搭載) インターネット側：　10BASE-T(RJ-45)　×　1ポート
対応プロトコル	TCP/IP
ルーティング	スタティック(最大2エントリ)
DHCP	DHCPサーバー：　最大253アドレス割り当て DHCPクライアント
NAT/ IPマスカレード	最大128エントリ (静的IPマスカレード、マルチNAT設定を含む)
セッション数	1 (PPPoEセッション) 最大256 (IPマスカレードセッション)
パケットフィルタ	最大6エントリ
バーチャル サーバ	最大12エントリ DMZホスト登録機能
接続方式	常時接続(CATVインターネット、ADSLなど※) PPPoE接続(ADSLなど※) ※ご契約内容、プロバイダにより方式が異なります。
PPPoE	ON/OFF可 PPPoE自動再接続機能
メール着信表示 (LED)	1アカウント 対応メールサーバ：　POP3サーバ
電源	DC5V、最大1A
動作温度範囲	0～50℃
動作湿度範囲	0～90%　(結露なきこと)
寸法	170(W)×29(H)×114(D)mm
質量	約228g

■ 出荷時設定表

項目	インターネット側設定値	LAN側設定値
初期IPアドレス	DHCPクライアント機能で取得。取得できるまで繰り返し要求する	192.168.0.1
NAT機能	有効 ダイナミックポート変換	LANからインターネットの方向で変換を行う
IPフィルタ	－	設定なし
DHCPサーバー	－	有効
DHCPクライアント	有効	－
PPPoEクライアント	無効	－

項目	設定値
Web管理画面ログイン名	admin
管理用パスワード （Web管理画面、telnet共通）	なし
セキュアホスト機能 （WAN側からの設定変更）	無効 （WAN側からの設定変更不可）

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、ハードウェアシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「NP-BBRxp」係宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ･オー･データ機器
PLANT コールセンター「NP-BBRxp」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

ソフトウェアのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.jp/lib/

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「NP-BBRxp」 サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

●インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態(『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」)をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化(一体化)されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「NP-BBRxp」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失などのトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「NP-BBRxp」 サービス窓口
電話番号　本社　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

NP-BBRxp 取扱説明書
2001.Oct.19　101363-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。